



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

JAPAN EAST REGION

2019～2020

BULLETIN



国際会長

より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

アジア太平洋地域会長 アクション! Action!

東日本区理事

勇気ある変革、愛ある行動! Innovation with courage,action with heart!

2020.9.15 発行 第2号通巻63号



『勇気ある変革、愛ある行動!』

“Innovation with courage,action with heart!”

みんなで力を合わせて、1・2・3

Hop,Step and Jump with all Y's men

東日本区理事 山田 敏明（十勝）

2019-2020の1年間、東日本区理事をさせて頂き、誠にありがとうございました。

私はこの1年間、濃度の高い、盛沢山ないわば波乱万丈な時間を過ごすことが出来ました。人生の中で、大変充実した期間でもありました。

東日本区の役員を引き受けてくださった皆さまと、東日本区全員から頂きましたご支援、ご協力に感謝申し上げます。とりわけ、ホームクラブの十勝クラブの皆さんには、たくさんのサポートを頂き、嬉しい限りです。

理事主題「勇気ある変革、愛ある行動！」を掲げ、1年間行動してまいりました。

1年間の事業を振り返ると、とてもこの文章では言い表しきれませんが、簡単に列記させて頂きます。特に、杜の都仙台にて2019年7月19～21日に開催されました第28回アジア太平洋地域大会は、参加者811名を得、盛大に開催することができました。現地の復興が確実に前に進んでいることを参加者全員が実感することになりました。

部会は、湘南・沖縄部が中止となり、また二つの部が台風19号の影響で開催が延期されましたが、各地を訪問し、皆さまと交流させていただいた事は、貴重な体験となりました。

台風19号・15号被災地支援では、ポジティブネットYMCA募金への連携をさせて頂きました。東日本区からは4,803,848円を送金いたしました。特に、アジア太平洋地域のNDRFから5,000米ドル、台湾区27,930米ドル、RDEサミット275,000円など、国際の仲間から浄財を頂いたことは心に刻みたいと思います。

「Change!2022」推進委員会が発足し、活発に議論されたことや、毎月のニュースの発行により、確実にメンバーへ会員増強の必要性が浸透しています。2月のシンポジウム開催で、さらに勢いが増しました。

第23回東日本区大会は中止を余儀なくされましたが、必ずこの状況を克服することでしょう。また皆さんと十勝で再会出来る事を心待ちにしています。

生活スタイルが変わっても、「YMCAを通して、地域社会に奉仕する」私たちの旨は重要です。今後とも、皆さんで力を合わせて、ワイス活動を進めましょう。現在はなかなかみんなで集まることもままならないので、「ワイス必携」や「ワイス読本」を読んで、ゆっくり考える時期かもしれません。今こそ自ら研鑽しましょう。

■ 東日本区理事

ワイズ活動をすることは、心のアンテナを磨くということです。このアンテナのセンサーを日頃から磨いておくこと、つまり今世の中ではどんなことが流行っているのだろう、どこかに面白いことがないんだろうかと、些細な事でも感じることが重要です。そういうことを常に意識して生きていればセンサーは自ずと磨かれていきます。ワイズメンは皆人生に前向きの方ばかりですから、常に学びの姿勢で、壮健で頑張りましょう。

年度は変わっても、皆でワイズの灯を燃やし続け、未来につなげましょう。

I 基本方針

- ① 現状を打破する勇気と知恵を持ち、豊かな感性と深い愛をもったワイズメンを目指そう。東日本区として、新しい流れを作るクラブへの支援を行い、メンバー増強の方策を考えよう。
- ② 広報活動を活発に展開し、各クラブにあった、そして各メンバーの元気の出る事業を積極的に探そう。
- ③ 第28回アジア太平洋地域大会(仙台・大会テーマ Action! 前に進もう)を成功させ、ワイズメンズクラブ国際協会のメンバーであることを自覚しよう。国際的、東西日本区の交流も含め、ワイズの醍醐味を楽しもう。
- ④ 新しいリーダーの養成の為、夢を語り合える大きなビジョンを作ろう。
- ⑤ YMCAとのパートナーシップをより強くし、地域社会に交流の輪を広げよう。

II 会員の現況

・2019年7月1日 849名 前期比▲17名 ・2020年1月1日 875名 前期比△26名(※別表参照)

III これまでの主な行事等

1. 東日本区役員会

- ・第1回:2019年7月6日(土) (日本YMCA同盟JRM会議室)出席者はオブザーバーを含めて34名で、議決権者は16名中15名。6議案全てが全員の賛成で承認
- ・第2回:2019年11月2日(土) (日本YMCA同盟JRM会議室)出席者はオブザーバーを含めて26名で、議決権者は16名中14名。7議案全てが全員の賛成で承認
- ・第3回:2020年4月13日(月) 初めてのオンライン会議を行い、現役員と次期役員の合同役員会を開催、その後書面議決で15議案全てが可決された。
- ・第4回:2020年6月5日(金) オンライン会議を行い、出席者はオブザーバーを含め24名で、議決権者は15名中10名で、書面議決者3名を含めて賛成多数で可決された。

2. 臨時代議員会

郵便による代議員会(2019年8月1~20日)を行った結果、代議員75名(定足数50名)のうち63名が投票し、1議案が賛成多数で承認された。議案名「2018-19年度東日本区会計決算・監査報告の承認」の件

3. 台風19号・15号被災地支援～ポジティブネットYMCA募金への連携

2020年3月31日(火)まで。日本YMCA同盟の募金目標額3,000万円、東日本区からは4,803,848円を送金した。(NDERFから5,000米ドル、台湾区27,930米ドル、RDEサミット275,000円など、国際関係を含め、たくさんのワイズから募金が集まりました)

4. ユースボランティア・リーダーズフォーラム(実行委員長:衣笠輝夫ワイズ)

2019年9月6日(金)~8日(日) 東京YMCA山中湖センター

参加リーダー数:40名、カウンセラー数:5名、スタッフ数:4名、参加ワイズ:22名

5. 部大会

7/21:北東部-63名、8/31:北海道部-25名、9/29:富士山部-90名、10/5:関東東部-60名

11/3:東新部-70名、12/4:あずさ部-88名、2/22:湘南沖縄部は中止

6. ワイズメネットの集い(澁谷実季委員長)

2019年11月30日(土)日本基督教団毛呂教会:33名参加(講師:東京多摩みなみクラブ深尾香子ワイズ)

ワイズ活動をすることは、心のアンテナを磨くということです。このアンテナのセンサーを日頃から磨いておくこと、つまり今世の中ではどんなことが流行っているのだろう、どこかに面白いことがないだろうかと、些細な事でも感じることが重要です。そういうことを常に意識して生きていればセンサーは自ずと磨かれていきます。ワイズメンは皆人生に前向きの方ばかりですから、常に学びの姿勢で、壮健で頑張りましょう。

	東日本区	西日本区	海外	来賓	一般参加者	合 計
ワイズ	273	269	168	3	70	783
A Y C	10	5	13	0	0	28
参加者合計	283	274	181	3	70	811

(注) 表には大会運営にご協力いただいた仙台YMCAスタッフの皆さん(10名)、同学生(43名)、エクスカーション協力者(語りべ等)、アトラクション出演者(さとう宗幸さんたち、仙台南高校、仙台すずめ踊り、モッシージャズオーケストラ)等は含まれていません。

②ACM(アジア太平洋地域議会) 2019年7月18日(木) 仙台YMCA 4階会議室

田中博之会長以下、利根川恵子書記、石丸隆章会計、7区の理事、地域事業主任など約30名の出席、各区の目標や、各事業の達成進度などが報告、活発な議論が行われた。

③ACM Mid-Year-meeting 2020年2月16日 Skypeにて実施

9. 次期部長・事業主任研修会

2019年10月26日(土)(日本YMCA同盟JRM会議室) チョコットチャット・ワールドカフェ・KJ法、参加者:25名

10. 「Change!2022」推進委員会の発足と取り組み(栗本治郎委員長)

①5人以上の新クラブ設立の奨励 ②SNS・広告の活用によるワイズ活動の情報発信→ワイズの知名度アップ ③部エクステンション委員会の新クラブ作りの支援、新クラブ設立の為のパンフレットの作成、クラブ設立の為の国際協会への手続き支援 ④アンケートの回答を踏まえて、新しいワイズ像の構築 ⑤Change!2022ニュースの発行によるEMC意識の向上

11. Change!2022 シンポジウムの開催

2020年2月1日(土)13:00～16:30 東京YMCA社会体育・保育専門学校2階演習室 参加者:103名



12. ワイズとYMCAのパートナーシップ委員会

第1回:2019年10月4日(東京) 第2回:2020年4月24日(オンライン) 第3回:2020年5月11日(オンライン)

13. 次期会長・部役員研修会

2020年3月7日(土)～8日(日)国際青少年センターYMCA東山荘→中止

14. 第23回東日本区大会 (ホスト:十勝クラブ 協力クラブ:北海道部各クラブ)

2020年6月6日(土) ホテル日航ノースランド帯広→中止

15. 年次代議員会

第23回東日本区大会中止により、電子採決及び書面議決を行った。賛成多数で可決された。

16. 理事引継ぎ式

2020年6月29日(月)日本YMCA同盟会館JRM会議室 司式:藤井寛敏元国際会長

東日本区次期理事報告

次期理事

板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

次期理事として、区の諸会議、行事は勿論ですが、部、クラブの行事、常置委員会、事業委員会などに時間の調整がつく限り参加し、遠隔地在住の山田理事の動きを少しでも多くカバーできるよう努力致しました。国際協会、アジア太平洋地域の研修会等にも参加するなど、理事就任に備えての準備も行いました。

また、前期に書記を務めました流れで山下書記のお手伝いなどもさせて頂きました。併せ国際・交流事業主任も務めました。

関わることが多く、至らぬ点が多々ありましたが、理事ご指導のもと、区事務所長をはじめキャビネットの皆様に支えられ、また役員、会員の皆様のご協力で任期を終えることが出来ました。昨年に続き今年もまた密度が高く内容の濃い1年間でした。皆さま本当に有難うございました。

7月からは理事を務めさせていただきます。引き続きよろしくお願い致します。

東日本区直前理事報告

直前理事

宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「勇気ある変革、愛ある行動！」のもとスタートした山田理事年度、後半に向かった途端に新型コロナという未曾有の災難に見舞われました。本来のワイス運動の活動ができない中、会員の士気を高め鼓舞に尽力された山田理事以下役員の皆さまに深謝します。

私自身は本年度で3年の常任役員職務を終了しますが、直前理事の重要な職務として区役員候補者指名委員会委員長の役目があります。その中で最も重要な次期における次々期理事指名については、残年ながらコロナ禍で次年度に持ち越しとなりました。幸いにも6月19日には県境を越えての移動自肃要請も解除されましたので、早速活動を再開しできるだけ早く皆さまに良い報告ができるよう努めて参ります。

次年度は、引き続き新しいワイスを求めての1年となります。板村次期理事をみんなで支えて参りましょう。

東日本区書記活動報告

書 記

山下 真(十 勝)

度重なるミスや失敗を私自身は気に掛ける余裕さえ無い中で、多くの役員の皆さまが穴を埋め、支え続けていただいたことに深く感謝しております。

任期直後に台風15号・19号が関東を襲い、日をおかず新春の慶びもそこに新型コロナウイルスが全国に広がりを見せるという非常事態に突入してきました。

私が厄難を引き連れてきたような、最初から最後まで試された一年であり、そこで何も出来ない非力な自分を責めたものです。

その中で、乏しい財政とユースリーダー不足をやり繰りしながら踏ん張り続けるYMCAの存在は我々の心の拠り所でした。

今、そのYMCAが経営と運動の危機に瀕しています。国際、地域、区、クラブが一丸となって、青少年育成の砦であるYMCAを支える闘いに結集されることを最後に皆さまにお願いし、祈りを込めて小山久恵書記へと引き継ぎます。

東日本区会計活動報告

会 計

増中 文明(十 勝)

まずもって、私事により会計業務の大半を小山事務所長に委ねる事になってしまったことをお詫び申し上げます。

山田理事の同志として意氣揚々と2019年7月を迎えたわけですが、業務をまともに遂行することなく終わってしまった事を悔いております。山田理事、山下書記には私の復帰を私のわが今まで待って頂いたにもかかわらず、最後まで役に立てず申し訳ないです。また各役員の方々にはこの場をお借りして深くお詫び申し上げます。

会計業務については、小山事務所長、相川、酒向、両副会計のお陰を持ちまして肅々と遂行されました。コロナ禍により困難続きだったと思います。感謝いたします。

また元気に皆様とお会いできる日を心待にしています。

地域奉仕・YMCAサービス事業活動報告
地域奉仕・YMCAサービス事業主任
片山 啓(茨 城)

**事業主題：「みつかるCS つながるYMCA
よくなっていくワイス」**

19-20年度の活動主題を上記とし進めてきた活動の概要を、以下にご報告させて頂きます。

1. 「みつかる CS」事業

「地域奉仕サービス活動」のデータベース化

本データベースの目的は、2022年のワイス100年に向けて新たな地域奉仕の参考にして頂けるように、過去の活動内容を整備すること、さらに、これまでの活動を記録に残すことで、ワイスの財産として後世に伝えたいという想いもありました。しかし、結果は7クラブの提出に留まりましたので、今後は、委員会内でプリテン等から可能な範囲でデータ作り、データベースの構築に向けた作業を進めたいと考えております。

2. 「つながる YMCA」事業

(1)「YMCAサービス活動」のデータベース化

本データベースの目的は、2020年のキャンプ100年や2022年のワイス100年に向けて、新たにYMCAとつながる(協働)活動や特別合同プログラム等の計画を推進して頂くための参考になればと募集を行いました。結果は、上記と同様で次年度も引き続き整備を進める予定です。

(2) YMCAとのパートナーシップ委員会の設立

YMCA単位か各部単位での委員会の設立に向けて検討を進め、新たな委員会の設立はできなかったものの、第7回YMCAワイスパートナーシップ委員会(5/11)にて、「結論として、YMCAとワイスがこのような課題を話し合い、両者の協力のもと、それぞれの組織で、その成果を実現させる手立てを考えられるよう、各地域での話し合いの機会について、全国総主事会議およびワイス東西日本区で検討してもらいたい。」との要望を決議し同盟総主事、東西日本区理事宛に提出しました。20-21年度は、東日本区内で協議の場が多く設けられることを期待しております。

(3) ジョブリストの作成

ワイスの豊富な職業やタレントを、YMCAのサポートに活用させて頂く事を目的で検討を進め、フォーマットを用意し第2回役員会で協議をしました。今後、「東日本区個人情報保護方針」や「規則」等を反映し個人情報の取り扱い方の調整を委員会で進める予定です。

3. 「よくなっていく ワイス」事業

(1) 地域奉仕・YMCAサービス写真コンテスト

ネット投票を行い区大会で発表と表彰を計画し、3月中旬から募集を開始したものの、区大会の中止と4月からの非常事態を受け募集を延期しました。

(2)「CS・Yサ・ASF資金運用規定」見直し

過年度の実績調査を行い、今後の有効活用に向けて検討を行う目的でした。しかし、今年度も規定に準じた審議や報告も十分に行うことができませんでした。20次年度に向けては、規程に準じ同盟とも調整をしながら運用を行うことを第4回委員会で協議・共有しました。

(3) プルタブ(プルトップ)収集の終了

本収集は、本年度(19-20)年度を持って東日本区としての活動を終了致しました。理由は、プルタブだけの収集よりもアルミ缶の収集の方が価値も高く、プルタブのみに拘る必要性がないためです。今後、収集事業の継続希望のクラブは、納付方法等を東日本区事務所に相談をしてください。

(4) 災害発生時の安否確認と支援体制の整備

広域自然災害に対して、会員の安否確認の情報共有と効率的な地域の支援活動に向け、会員間で必要な情報共有の検討を行ってきました。今後は、区事務所と検討を進める予定です。

(5) Web会議室の提供

3月以降、例会を行えないクラブが多発したことから希望クラブに対し、5月よりZoom会議室の貸し出しを開始。6月までに20件以上を対応。20-21年度は区事務所で運用管理を予定。

会員増強事業活動報告

会員増強事業主任

札埜 慶一(熱 海)

皆様には会員増強事業に大変深いご理解をいただき、1年間のご協力誠にありがとうございました。

しかしながら、東日本区大会も中止となり、皆様の努力の結果を表彰することもできず、さらに私の力不足により、2019年7月に東日本区として849名でスタートし、2022年12月までの目標会員数80クラブ1,246名に対して、2020年1月現在において目標からはほど遠い61クラブ830名と会員数はマイナスになってしまったことをお詫びいたします。EMCシンポジウム、Change!2022委員会、SNS発信、5人以上で新クラブ設立等、新しい取り組みを各種行ってきたものの、途中からコロナウィルスに阻まれ、東日本区、各部、各クラブに訪問することもままならず会員増強事業を防げられ中途半端に終わつたのも事実です。

その中で、「横浜つるみクラブのチャーター」、「熱海クラブ9名」、「甲府21クラブ8名」という過去にないような大人数の会員増強もあり一筋の光明を見た気がしました。

この後は、大ベテランの2020-2021東日本区会員増強事業主任伊藤幾夫氏にバトンタッチとなりましたので、1,246名の目標を託したいと思います。私自身も2022年12月まではChange!2022委員として残り、力を尽くす所存です。

■ 事業主任

国際・交流事業活動報告

国際・交流事業主任

板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

主題を「ワイスの広がりに飛び込もう！」として活動をスタートしました。前期は行事が多く、忙しいながらも楽しみながら活動ができましたが、後期はコロナ禍で対面での活動や追い込みができませんでした。しかし、新たなコミュニケーションスキルとツールがメンバーに行き渡りつつあり、今後は、例えばDBC、IBCとの交流が以前より活発になるなど、新たな展開、発展ができると期待しています。

1. 活動報告

(1) 献金事業

- ・各種行事、6部の部大会、ワイスネットの集い他に参加し、適宜国際・交流事業関係の報告ならびに献金協力のお願いを実施
- ・RDEサミット(11/14～11/17於:米国Toledo市)にて台風19号、15号被災地支援YMCAポジティブネット募金を実施。(約28千米ドルが捧げられた)
- ・献金の結果は本誌の別表参照。昨年より約27万円減少となった。

(2) アルファベットで略記のワイス事業の説明

- ・事業および国際協会の当該献金の収支概略を理事通信の「強調月間」にて解説、報告。RBM(7月)、YES(10月)、IBC/DBC(1月)、TOF(2月)、BF(3月)
- ・強調月間は2020-2021年度に一部が変更となる。

(3) 国際協会からの情報の提供、共有

- ・国際会議、アジア太平洋地域会議報告を共有
- ・田中アジア太平洋地域会長の情報を主査と共に
- (4) 国際協会が取り組むRBMへの協力継続(募金、研鑽、交流、広報)
 - ・アジア太平洋地域大会(7/19～21於:仙台)にて東西日本区協働でRBM募金実施(献金額64,896円)
 - ・「ぶーん蚊祭」に出席(6/30)
 - ・第7回アフリカ開発会議(TICAD VII)の公式サイドイベント「アフリカにおけるゼロマラリア達成に向けた課題と挑戦」に出席(8/27)
 - ・NPO法人 Malaria No More JapanとRBMキャンペーン、提携などにつき意見交換を実施(12/5)
 - ・「ZEROマラリア2030:そして世界へ、日本企業の挑戦」に出席(12/8)
 - ・世界マラリアデー(4/25)に因み国際協会のRBM活動を東西日本区協働で広報(4/22)
 - ・国際協会は、本年度に「マラリアを終わらせるためのロールバックマラリアパートナーシップ」(RBM Partnership To End Malaria)と提携を行った。
- (5) BF関係

・使用済み切手の収集を継続(16クラブが収集、換金額18千円)

・BF代表(文化交流)の応募はなかった。

・6月に予定であったBF代表(ペルー)の来日は11月に延期となった。

(6) IBC/DBC

・アジア太平洋地域大会にてトライアングル締結1件(台北ダウンタウン/十勝/京都ウエスト)、クローラングル締結1件(マニラダウンタウン/熱海/東京グリーン/京都パレス)

・アジア太平洋地域大会で東西日本区協働でIBC希望クラブの募集を実施。具体化作業は次期に持ち越し

・国際協会のIBCダイレクトリー改訂に協力

(7) 国際交流

・アジア太平洋地域大会に参加

・韓国地域大会(8/23～8/24於:昌源)に出席

・エストニア共和国パルヌクラブ会長夫妻との懇親会開催(10/1於:東京)

(8) 委員会等

・第1回委員会(10/16)、第2回委員会(1/20)

・次期クラブ会長・部役員研修会(3/7～3/8)は中止となり、ワークブックの発送のみを行った。

2. 表彰

献金事業であるBF、TOF、RBM、YESおよびIBC締結賞について表彰を実施

3. 課題

献金ゼロクラブの増加(1)、献金額の減少となり、課題を残す結果となつた。

ユース事業活動報告

ユース事業主任

渡辺 大輔(東京武蔵野多摩)

テーマは「共創」、YMCAと共に何かを創っていこうと思っておりましたが、2月以降新型コロナウイルスの影響で主だった活動ができなくなってしまいました。今期の活動報告は以下の通りです。

▼事業委員会は2回(7月、2月)開催しました。2ヶ月に1度の開催を目指しましたが達成できませんでした。

▼アジア太平洋地域ユースコンボケーション(7/17～21)参加者の報告会(北海道部大会、あずさ部大会、宇都宮クラブ拡大例会)

▼第32回ユースボランティア・リーダーズ・フォーラムの実施(報告書の作成)

【概要】

実行委員長:衣笠輝夫(埼玉)

開催日時:2019年9月6日(金)～8日(日)

開催場所:東京YMCA山中湖センター

参加リーダー数:40名 カウンセラー数:5名
 スタッフ数:4名(東京YMCA江東センター2名・横浜YMCA2名)
 基調講演者:大沼謙一氏・堀江和広氏
 主管YMCA:東京YMCA江東センター
 参加ワיזメン(部分参加含):22名



【第32回ユースボランティア・リーダーズ・フォーラム】

▼(部主催)ユース事業の支援の実施できませんでした。

▼こういった状況下だったため、STEP、YEEPの派遣・受入れともに申し込みはありませんでした。

▼中止事業

- ・第9回オープンフォーラム・Y
- ・国際ユースコンボケーションの参加支援(8月10～16日)デンマーク(オーデンセ)、4名の推薦あり。

▼今後の検討事項

- ・YVLF負担金についての検討
- ・委員会則の策定

1年間、ご協力ありがとうございました。

今後ともユース事業へのご支援をお願い致します。

北海道部活動報告

北海道部部長

宮崎 善昭(札幌)

部長主題は「新たな者としてYMCAと共に歩もう」として、新しい気持ちを持ってYMCAのサービス活動をしていくことを目標としておりました。まずは、7月の毎年恒例の北海道YMCAチミケップ国際キャンプ場整備のワークを十勝、北見、札幌の各クラブ有志によって行いました。



【チミケップキャンプ場の整備ワーク】

その後は各クラブが十勝、北見、札幌の地域で各プランチのサービス活動を行ってきました。

年が改まって1月には北海道部合同例会を札幌で行い、山田理事をゲストとして4クラブより参加者が集いました。3月になるとコロナの影響が出始めYMCAのプログラムが相次いで中止になり、それに伴い各クラブの活動を始め4月の北海道部会・評議会の中止、北海道YMCAチャリティーランの中止、部長公式訪問の中止など部としての活動は、ほとんどできないまま年度を終了することになりました。

北東部活動報告

北東部部長

鈴木伊知郎 (宇都宮東)

北東部の活動も新型コロナウィルスの感染拡大により、部も各クラブも2月半ばより活動を順次自粛しました。その中で今年度北東部の3つの活動を報告します。

(1) 第28回アジア太平洋地域大会

2019年7月19日～21日 仙台市仙台国際センター

3年間に渡って部をあげてHCC実行委員会に参加し、大会参加の準備を行ってきました。部長の私も大会開催のために2年前に引き続き、北東部部長に再任しました。大会開催前・開催期間中には在仙台4クラブのメン、ネット及び仙台YMCAが大きな力となりました。また東日本区、西日本区のメンバーが参加したHCC実行委員会。実行委員長は理事でもある山田敏明メン(十勝)、そして実質的に準備運営を行ってくださった加藤重雄副実行委員長(仙台青葉城)の貢献も大きなものでした。

大会参加者が800名を超え、東日本大震災から9年が経過した被災地の復興の様子を世界のワизメンにバツツアード訪れて頂きました。大会終了後に田中博之アジア太平洋地域会長(東京多摩みなみ)より、大会は大成功の評価を受けたのは大会開催を支えた北東部として大きな喜びです。

(2) 台風19号による被災地支援ボランティア活動

2019年10月13日(日)～宇都宮市

2019年10月12日(土)、台風19号が襲来しました。記録的豪雨により宇都宮市中心部において田川が氾濫、多くの家が床上浸水し、私の家も被災地の中心で被災しました。

翌日の13日(日)の午前中に、宇都宮東クラブ、とちぎYMCAや各種ボランティア団体が被災地支援の活動を開始し、発災から20時間後に炊き出しや被災家屋の支援を中心としたボランティア活動を実施しました。不幸中の幸いは、被災地の自分の家でボランティアセンターを開設出来たのと、自分が地域の子ども会連合会会長をしているので、自治会連合会などの地域団体と地元小学校、PTAとの意思疎通がスムーズだったことです。とちぎYMCAを中心に即応したボランティア活動に、多くのボランティアが集まり、地域住民から大きな感謝を受け、地域にYMCAの名を知らしめました。

炊き出しと被災家屋の泥の除去、被災ゴミの片付けと運搬は、ボランティアと他のボランティア団体と協働で12月までほぼ連日実施。1月からは他団体と協働で「うつみや暮らし復興支援センター」を開設、ボランティアの派遣、復旧資機材の貸出、子ども食堂、高齢

者などの地域住民対象の茶話会などを始めました。ただし、新型コロナウィルス感染拡大の影響で、3月から残念ながら活動を休止しております。



【とちぎYMCAとともに炊き出し】

(3) 北東部ユース・リーダーズ・アクト

2020年2月15日(土)～16日益子町芳賀青年の家

とちぎYMCA、もりおかYMCA、ぐんまYMCAのスタッフ、リーダーを中心に企画し、宇都宮、宇都宮東、もりおかの3クラブのワיזメンも参加し、ユースと交わり、テーマごとのディスカッション、ドッヂボールチームの小学生を交えた夕食、体育館でのキャンドル・ファイアーなどを楽しみました。翌日は、「第8回とちぎYMCA杯エンジョイドッヂボール大会」(宇都宮市清原体育館)に参加しました。

後半はコロナウィルスの影響を受けましたが、前半は充実した北東部の活動でした。

関東東部活動報告

関東東部部長

金丸 満雄 (東京ひがし)

◆ 主な部活動

- ・2019年7月13日：第1回関東東部評議会
東京YMCA東陽町センター／出席者25名
- ・2019年10月5日：第23回関東東部部大会
東京YMCA東陽町センター／出席者61名
- ・2019年10月12日：関東東部レクリエーション(神田川クルージング)／台風19号により中止
- ・2019年11月16日：第2回関東東部評議会
東京YMCA東陽町センター／出席者23名
- ・2020年4月18日：第3回関東東部評議会
コロナウィルス感染防止対策により中止

◆ 会員増強(EMC)

- ・入会：東京江東1名、東京ひがし4名、東京北2名(広義)、東京ベイサイド2名、川越1名
- ・退会：川越2名、茨城1名
- ・部員数：133名(年度スタートより7名増)
- ・エクステンション：(仮)千葉ウエストクラブ設立に向け、スポンサー千葉クラブ中心の設立準備委員会による準

備が進められ、メンバー数10名となり6月20日に設立総会が予定されていたが、コロナウイルス感染防止により、来期の7月18日に延期となりチャーターナイトは10月3日(予定)となった。さらに、茨城県牛久地区に、新たなクラブ設立の芽吹きがあり開花を期待する。

◆特徴的なクラブ活動

- ・東京江東、東京ベイサイド:共同による、カンボジアへの園服寄贈プロジェクト活動
- ・埼玉3クラブ:合同例会(埼玉・所沢・川越)開催。川越クラブ入会式が行われた。
- ・東京北:2名の再入会(広義)でクラブ存続危機を乗り越えた。
- ・東京ひがし:4名の入会でグッドスタンディング達成(会員数15名)
- ・茨城:CS新規事業-11月4日(祝)、第1回チャリティーサイクリング開催
- ・その他:所沢・東京ひがし・川越・茨城の各クラブは、子ども食堂の支援を行っている。

後半は、コロナウイルス感染防止対策によりワイス活動が中止となり、中途半端で2019-2020年度が終了しましたが、関東東部10クラブの皆様によるご協力とご支援に、深く感謝申し上げます。

東新部活動報告

東新部部長

小川 圭一(東京世田谷)

達成できなかったもうひとつの夢

東新部の皆さんとご一緒に、想定外の一年間を過ごしてきました。まず部大会は台風で日延べして何とか開催できました。また、仙台で開催されたアジア太平洋地域大会に参加できて、交流するワイスになろうとの思いが実現できたシーンでした。また、エクステンション委員会の新クラブへの思いは強烈で来期につながる構想、夢、EMCへの取り組みが、コロナ禍の中でも形になって見えてきました。頭の下がる思いでいっぱいです。そのほかCS・Yサ、ユース、国際・交流事業なども、コロナ自粛のなかで気持ちばかりが先行しました。

そして、表明さえもできなかったもうひとつの夢は、ワイスソングの歌い方。一番は手を挙げ誓い新たに、二番では溢れる誠を上げた手を胸にあてて態度で示しましょう、というアピールでした。

東新部の歌制作に係らせて頂きYMCAすずらん会を続けるなかで機能する音楽を模索してきた私の、世界中のワイスマンに対する提案なのです。

幸い、鰐夫も生かされて5年目に入りました。これからもワイスソングと東新部の歌を高らかに歌いつつ歩んでまいります。すべての皆様に感謝します。

あずさ部活動報告

あずさ部部長

赤羽 美栄子(松本)

ワイスの活動ばかりではありませんが、2019-20年度は、波乱に満ちた今までと違った年度になりました。

●通年通りだったのは、7月から9月の期間で第1回評議会、公式訪問、入会式などにも積極的に出席し、各クラブの独自の活動などを知る良い機会となりました。

●10月は台風19号の災害によって部大会の延期や八王子クラブ25周年記念例会の中止、そして、長野クラブや山梨YMCAなどによる被災地支援活動など新しい活動もありました。12月には延期の部大会と松本クラブの留学生支援作文コンテストの併催で一味違った新鮮味のある部大会となりました。

●新年を迎える、会員数が総勢9名増となり、2月には第2回評議会を開催、議案議決後の会長報告の際、東京山手クラブの浅羽俊一郎会長から今年度限りでメンバーの高齢化などを理由に66年間の歴史を閉じて解散する旨の発言がありました。勿論、解散を惜しむ声は多々上がりましたが、クラブ会員の総意となれば受け入れなければならないことでした。このことは、ワイスメンバーが高齢化している多くのクラブが抱えている問題であり、他人事では済まない喫緊の課題でもあります。



【東京山手クラブ・ラストメンバーズ(2020年6月)】

●3月以降から現在まで、思いもかけぬ新型コロナウイルスの影響によってワイス活動は一切できなくなってしまい、本当に残念です。各クラブでも後半に計画していたCS事業は全て中止。また、5月の第3回評議会は初めての書面議決によって行いました。この試みはコロナ禍の今後も引き継がれていくことになりそうです。

●本来なら北海道開催の東日本区大会を心待ちにしていたところですが、中止となり、年度の活動の区切りが皆様に実際にお会いすることなく、新しい年度へと切り替わってしまったことは誠に残念ですが、ワイス活動がどんな環境になったとしてもその理念をもって続していくと信じております。

最後に、一年間、ありがとうございました。

■ 部長

湘南・沖縄部活動報告

湘南・沖縄部部長

森田 幸二郎(沖 縄)

「ワイスメンズクラブの活動を広く社会に浸透させるために、ワイスダムメンバーを礎とした活動基盤の再構築を図ります。」という部長方針に基づき、1年間、部長を務めさせていただきましたこと、先ずはご協力、ご支援を頂きました皆様に深く感謝を申し上げます。

○部長公式訪問

金沢八景クラブ7月例会、横浜とつかクラブ・鎌倉クラブ7月合同例会、沖縄クラブ例会への参加は果たすことができましたが、横浜クラブ、厚木クラブ、横浜つづきクラブ、横浜つるみクラブへの例会参加は、各クラブ会長に再三の調整をいただきましたが、新型コロナウイルスの影響も受け、訪問することは叶わぬものとなりました。

○部大会

2020年2月22日に沖縄で初の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み本年度は中止となりました。

○研修会

2020年3月第3回評議会に合わせて、「Facebookの特性と活用方法」についての研修会の予定をしておりましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、本年度は中止となりました。

○横浜YMCAと合同新年会

2020年1月18日18:00より、横浜中華街北京飯店にて、山田東日本区理事、板村東日本区次期理事、横浜YMCAからは田口総主事のご臨席を賜り、雨降りの寒い日でしたが、盛大に開催をすることができました。

〈YMCAとの協労〉

○AIDS文化フォーラムIN横浜

2019年8月2日～4日 会場:かながわ県民センター

◇プログラム数:58 ◇参加者数:4,347名

○第7回横浜YMCA専門学校日本語スピーチコンテスト

開催日:2019年9月2日 会場:神奈川県民ホール小ホール

○横浜YMCAインターナショナルチャリティラン

開催日:2019年11月16日 会場:横浜みなとみらい地区臨港パーク内特設会場

参加数:103チーム(515名)

○Y-Y's協議会

2019年9月・12月

富士山部活動報告

富士山部部長

長田 俊児(下 田)

私のおそらく最初で最後であろう部長職がまもなく終わります。

波乱万丈という言い方は大袈裟ですが、自分的にはこの圧縮版と思うのが当たっています。富士山部の一番外れの一番小さいクラブの中で、世間(ワイス)知らずの私がいきなり中央の舞台に放り出されたのですから。最初は右往左往、この人は誰、何の事、何の話、正にカルチャーショックの連続でした。顔で笑って心で泣いていましたね。でも、ワイスメンは優しかった。嫌な顔一つせず、仲間としてちゃんと迎え入れてくれました。「ワイスダム」を態度で示して貰いました。まさに「すばらしきワイス」を実感したところです。

さて、我が富士山部、九つのクラブの仲間は凄い。長い実績に裏打ちされた個性豊かなワイスダムへの取組み。本当に誇るものがあります。

私たちの大きな使命はこのワイスダムの灯を絶やさぬ事、これに尽きるのではないかでしょうか。子ども達の笑顔をずっと見ていいけるように。

最後の最後にコロナ騒動。世界も、日本も、ワイスも大騒動。映画の世界だけと思っていたこんな事が本当にあるんですね。

富士山部各クラブもその対応に大わらわでした。国の施策に従っての三密防止のため、委員会、例会、事業すべて中止、嘘みたいな状況でした。

でもその中から、社会問題ともなったマスク不足に対応し手作りした数百枚単位のマスクを市に寄贈する等、ワイスダムを如何なく発揮するクラブも現れました。また、このような人の英知を超えた自然災害も有るのだから、ちょっと立ち止まってワイス活動の基本を考え直す良い機会ではないかとする意見も聞きました。ま、その是非は別として、一理は有るのかなと思うのは私だけでしょうか。

一年という短い期間でしたが、本当に凝縮された日々でした。また、新しい友を得、ワイスを広い視野で体験する事が出来た素晴らしい一年でした。

ご迷惑もお掛けしましたが、この場をお借りして皆さんに御礼を申し上げます。

監事活動報告

東日本区監事

漆畠 義彦 (富士)

2019-2020山田理事は、みんなで力を合わせてホップ・ステップ・ジャンプ、自ら行動しましょうと方針を明確にして期をスタートした。

Change2022を掲げて会員増強運動を展開し、5人以上の新クラブワイズの知名度を上げるパンフレットによる情報発信等々具体的にEMC意識の向上を図るとした。

一方、文献・組織検討委員会と定款改訂委員会で基盤規則を重視して区の行動規範を改革し明確なワイズ活動を目指し、透明性のある活動になるものと確信しています。活動・行動が明確ならば会計も自ずとより明確になります。当該東日本区役員がその中身を理解した上で、当該年度の代議員会で決算を承認出来れば理想ではないでしょうか。

文献・組織検討委員会活動報告

文献・組織検討委員会委員長

利根川 恵子 (川越)

今年度は、計5回の委員会において、以下の規則等の審議を行った。

継続審議中の「組織の法人化について」は、法人化検討小委員会で、社団法人化に向けて、定款の作成とともに、メリット・デメリットを検証中である。また、「東日本区大会手引き」は審議が終了し、使用が開始された。

新規に審議した以下の規則等は、役員会において承認され、施行された。

- ① 「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所個人情報保護方針」および「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所個人情報保護規則」
- ② 「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 SNS(ソーシャルネット・ワーク・サービス)使用ガイドライン」
- ③ 「Change!2022推進委員会規則」および「Change!2022推進委員会規則施行細則」
- ④ 「奈良傳賞選考委員会」および「東日本区ワイズ基金」の改訂
- ⑥ 新クラブ設立支援金規則
- ⑦ 新入会員に対する東日本区大会登録費補助規則

監事活動報告

東日本区監事

辻 剛 (横浜つづき)

2019-20年度後半は人類史上でも稀にみる新型コロナの世界的な感染拡大というパンデミックに襲われました。そのコロナ禍の中で山田敏明理事以下執行部の皆さんは東日本区の運営に的確に対応されたと思います。1年目の不慣れな監事として十分な責務を果たせたか疑問ですが、振り返りは行政監査報告で述べさせていただきましたので、目を通してくださいければ幸いです。皆様には1年間ご協力いただき感謝申しあげます。

LT委員会活動報告

LT委員会委員長

北村 文雄 (厚木)

2019-20年度がスタートするにあたり、次期理事、次期部長の皆さんに押し並べて「改革」を目標に掲げた。東日本区が総力で取り組んでいる「Change ! 2022」今変えなければ、変わらねば、ワイズの未来は無い。多くのワイズメンが心の中で感じていることです。

LT委員会は次期のリーダーシップを担っていただく皆さんに主役としてより強い自覚をもつていただくことを目指し研修会の改革を目指した。

10月26日に開催された次期部長・次期事業主任研修会では、ワイワイチャット、ワールドカフェ、KJ法等の研修技法を取り入れ、アレンジし、出席者の皆さんに心ゆくまで語っていただき貴重な意見も多く出していただいた。これを受ける形で、3月の次期会長研修会、6月のフレッシュワイズセミナーと続くはずであったが、コロナ問題で全て中止になった。

次期部長・事業主任研修会で出た、経験の浅いワイズメンへのケアが重要であるという意見を受け、山田理事の英断で新人会員の東日本区大会の登録料を無料にするといった話もすべて今回は無くなってしまった。

しかし、LT委員の皆さんに知恵を絞り、研修会の改革を目指し開発した研修技法はこれからワイズの研修会で多いに役に立つであろうと思います。



【次期部長・事業主任研修会】

■ 委員長

JEF委員会活動報告

JEF委員会委員長

高田 一彦(千葉)

①JEF献金の現況(6月30日現在)

期首 16,170,763円

支出 2,800,000円 (EMC口座へ) /1,250,000円
(P.W.アレキサンダー遺産計画への献金)

収入 345,450円 (下記献金一覧参照)

期末 12,466,213円

(支出予定270万円 新入会員の大会登録費補助)

〈献金一覧〉

●2019年

・山田敏明(十勝) 30,000円 東日本区理事に就任して
・鈴木茂(横浜つづき) 20,000円 監事を無事務めて
・22回区大会実行委員会 220,000円 22回区大会記念

・小山憲彦(東京サンライズ) 10,000円 1年間の事務所の仕事を無事終えて

●2020年

・田中博之(東京多摩みなみ)10,000円 ワイズダム発展を願って

・東京クラブ献金 15,450円

・東京北クラブ献金 10,000円

・金子 功(横浜) 10,000円 JEF委員を拝命して

・高田一彦(千葉)10,000円 ワイズダム発展のために

・千葉クラブ 10,000円 新クラブ設立のスポンサーとして感謝

②東日本区常置委員会規則の「東日本区ワイズ基金」の見直しを行い、第3回役員会にて承認された。

③次期会長・部役員研修会への対応

次期クラブ会長・部役員へ送付の「研修会ワークブック」の裏表紙に「感謝の気持ちをJEFへ(東日本区ワイズ基金)」のチラシと「東日本区ワイズ基金献金申込書」を挿入し、JEFのPRをしてもらった。

Change!2022推進委員会活動報告

Change!2022推進委員会委員長

栗本 治郎(熱海)

1997年時の会員数1,246名を目標とする中期会員増強運動の『Change!2022』プロジェクト推進ため、毎月委員会を開き、下記の様な活動をしています。3月以降はコロナの影響でオンライン会議を開いています。各クラブでもZoom等のツールを活用して、例会や役員会を開かれています。年齢層の高いワイズではありますが、意外にも抵抗なく使われているようです。コロナ禍後の新生活スタイルに対応してZoomやFB、HP、QR

コードを積極的に活用し、元気なワイズ活動を期待しています。

〈活動内容〉

- ・Change!2022として7月スタート
- ・JEF基金および委員会会計の件
JEF基金より特別委員会費(2年間)として280万円を7月1日付で委員会会計に移動
- ・アンケートの纏め発表
クラブ会長向け・会員向けアンケート発表
- ・Facebookの状況(30クラブがスタート)
外向けの広報として積極的な活用が必要
- ・Change!2022推進委員会規則・施行細則作成
(第2回役員会で承認)
- ・Change!2022ニュース発行(毎月)
毎月15日に発行、各クラブ会長に郵送、その他メールで配信
- ・12月2日よりFacebook広告開始(随時)
アンケートおよびChange!2022ニュースを参考にワイズの課題を委員会で検討し、ワイズの新しいクラブ像として作成しました。
- ・Change!2022シンポジウム開催

日時:2020年2月1日(土)13:00~17:00

会場:東京YMCA社会体育・保育専門学校

参加者:103名

Change! 2022 宣言

私たちは、ワイズメンズクラブ国際協会の国際憲法および東日本区の定款に示されたモットーとクラブの目的に賛同し、誇りと喜びをもって、ワイズメンズクラブの会員となり、活動を行っています。そして、この活動がこれからも継続、発展していくことを願っています。しかし、ここ数年、残念なことに、会員の高齢化、減少の傾向が強まっており、活動の停滞も見られます。

このような状況に歯止めをかけ、これから将来もより活発で豊かな活動を継続、発展していくためには、私たちは今、行動に移すことが必要であると認識し次のアクションを起こすことを宣言します。

- ・私たちワイズ一人ひとりが現状に対する危機感を共有し
- ・知恵を出し合い、変えるべきことは勇気を持つて革新し
- ・新しい取り組みについても謙虚に耳を傾け
- ・柔軟でしなやかな発想を持って、現状を開拓するための努力を惜しまず
- ・必ずや、2022年までに目標の会員1,246名を達成する

2020年2月1日

東日本区事務所人事委員会活動報告

東日本区事務所人事委員会委員長

板村 哲也 (東京武藏野多摩)

下記の通り事務所長の選任を行いました。

(1)公募

2019年10月23日付で「東日本区事務所所長公募のお知らせ」をクラブ会長宛て送付(12月12日締切)。応募者3名。

(2)選考

経歴、個人的事情・環境等を勘案し一部面接を実施。東日本区事務所人事委員会(2019年12月13日)にて小林隆ワイス(沼津クラブ)を事務所所長候補として選定。続き同日の常任役員会で承認を得、第3回役員会(4月12日)で最終決定。4月28日にクラブ会長宛に結果を連絡。

(3)待遇等

2020年7月より勤務(1年以上の継続勤務可)。報酬は120万円/年(10万円/月)とし、通勤費は通勤事情に合わせ妥当な額を支給。

(4)事務所業務引き継ぎ

小山憲彦直前事務所長に1年間(注:状況によっては後日延長を検討)ボランティアで適宜サポートを頂く。

(5)事務所職員

職員の有無は、今後の状況で協議する。

(6)小林新事務所長略歴

生年月日:1952年8月8日/現住所:静岡県三島市
趣味・特技:写真/職歴:地元金融機関に40年以上勤務、町内会長や社会福祉法人の役員を務める。

2002年2月沼津クラブ入会、熱海YMCA会員

2004年7月クラブ会長(2期連続)/2007年7月富士山部会計

<感謝>

小山憲彦ワイスには7年連続で事務所業務に携わって頂き歴代の理事、役員をはじめ多くの会員が大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

東日本大震災支援対策本部活動報告

東日本大震災支援対策本部長

山田 敏明 (十 勝)

東日本大震災が発生して、9年余りが経過しました。この間、私たちは、少しでもこの教訓を生かして、様々な事業を展開してきました。現在は、コロナの影響で、活動もままならない状況になりましたが、大震災を風化させないために、今後も支援活動を続けて参ります。

特に、杜の都仙台にて2019年7月19~21日に開催されました第28回アジア太平洋地域大会に於いて、現

地の復興が確実に前に進んでいることを参加者全員が実感することが出来ました。特に、公開講演会「復興と防災の未来」では、第1部に「東日本大震災からの復興と防災への取り組み」と題し、宮城県知事の村井嘉浩様の体験に基づいた講演をして頂きました。また、第2部では、「あなたと子どもを災害から守る方法」と題し、危機管理教育研究所代表の国崎信江様より、防災に対する色々なヒントが得られました。そして最後に、村井伸夫仙台YMCA総主事の大震災のYMCAのレポート、光永尚生日本YMCA同盟主事の「各地での災害レポート」を頂きました。

この大会の目玉であるエクスカーションに於いては、コースを4つに分け、総勢約900名がバスに分乗し、津波の被害地域や、震災に耐えた地域、そして福島第一原発20km圏内の訪問などで、様々な思いの中、現地の復興を感じて参りました。

本年度の対策本部の収支ですが、入金は、①第1回東日本区役員会の懇親会献金(14,000円) ②所沢クラブ大澤和子ワイスより自費出版の売り上げの一部からの募金(18,000円)、預金利息6円、計32,006円でした。支出は①11月の横浜つづきクラブの慰問の旅費補助(宮城県山元町の特養ホームと保育所の慰問) ②11月の東京たんぽぽクラブの歌の広場の旅費補助(石巻のグループホームへの歌声訪問)の計121,112円です。いずれも大震災以降、9年間欠かさず取り組まれている事業で、今後も活動が期待されています。尚、次期繰越金は、683,016円です。

来年度は、大震災から、丸10年という節目になります。今一度、東日本区としても今後の活動を考え、支援活動を続けていかなければなりません。

ヒストリアン活動報告

ヒストリアン

仙洞田 安宏 (甲 府)

今年度は、台風15号、19号の被害、新型コロナウィルスの感染拡大と多難な年度となりました。緊急事態宣言が出される中、クラブの例会はもとより、周年行事や東日本区大会も中止となるなど、ワイスメンズクラブの活動が大きな影響を受けました。活動を記録、資料を保存するというヒストリアンの任務も同様です。

そんな中にあって、役員会等の会議がインターネットの技術を活用して開催されるようになりました。一堂に会しての協議とは趣きの異なったものですが、今後このような形態の会合が増えるでしょう。

これらの記録も新しい観点からされることが求められるかも知れません。

■ 専任委員/事務所長

ITアドバイザー活動報告

ITアドバイザー

大久保 知宏 (宇都宮)

ITアドバイザーは、メーリングリストの運用と東日本区ウェブサイトの運営が主な業務となります。

メーリングリストは、LINEなどの別の連絡手段とも併用して使用されていることから、使用頻度がそのミッショングループの活動状況を正しく示しているものとは言えませんが、一部のアドレス以外は活用が十分とは言えませんでした。コロナの影響が出始めた期の後半においても、意見交換の方法としてメーリングリストは活用されなかったと思われます。

東日本区のウェブサイトの運営としては、年間の訪問者数は11,610人(前期27,046人)、ページビューは24,845回(前期63,390回)となり、前期と比べて大幅に減少しています。

ブリテンの格納は、ほぼ毎月30件程度行っていて、その格納した案内はyscomのメーリングリストで行われていますが、仮に訪問者の全員がその案内によってサイトを訪問したとしても、月に32人程度にしか届いていないことになります。各クラブからの情報発信方法としてのブリテンの内容について見直しが求められているように思います。また、前期と比べて大幅に訪問者が減った理由は、区としてのサイトの利用方法によるものと考えられます。区として情報を適切に伝達する方法として何を選択していくのか、それを定めて行くことが必要と考えます。訪問者がサイトに来てからページを移る回数については2.1回(2.3回)と大差はありません。サイト訪問者にとって、他のページに行く興味を抱かせるような構成になっていないことを示していて改善が必要です。

コロナの影響が続く中で、活動を活性化する手段はIT技術の活用です。新しいことへの取り組みの支援をしていくことが、あらためてITアドバイザーに求められた機能と考えています。

トラベルコーディネーター活動報告

トラベルコーディネーター

長澤 山泰 (東京)

6月に開催予定であった第23回東日本区大会(十勝)に合わせてペルーからロザンナさんが来日するべく準備をしておりましたが、コロナ禍の影響を受け渡航が出来ず、BF代表としての役目が叶いませんでした。

国際TCと本人の希望を受け11月下旬の来日へ予定を延期していますが、渡航条件の厳しさが継続するような状況下にあり、再度延期となる場合もありますが、具

体的な来日日程が決まりましたら、各部長を通じて、担当クラブでのアテンドをお願いするようになります。

ホストを受けていただく部とクラブにはご負担をお掛けいたしますが、BF代表受入主旨をご理解いただきまして、実り多い交流の場を設けていただければと思います。その節は、何卒ご協力をいただきますよう、宜しくお願ひいたします。

広報・伝達(PR)専任委員活動報告

広報・伝達(PR)専任委員

山下 真(十勝)

内部に対する広報活動は区活動だけでなく国際、地域、YMCAの情報を積極的に発信することを心がけました。皆さんのご期待にどこまで添えたかは疑問ですが。

一方、外部に向けてワイスの愉しさや魅力を伝える活動は、誠に不十分だったと言わざるを得ません。

ウェブサイトやfacebookなどの新しいツールと従来の人と人のつながりを組み合わせた新たな広報活動を模索しましたが志半ばで任を次期に譲ることになります。

反面教師としては極めて良質な?この失敗を十二分に活かして、これから計画されている公式WEBサイトの刷新も進め、外部に対する広報活動を強化して頂けることを次期の渡辺大輔広報・伝達(PR)専任委員にご期待申し上げます。同時に求められれば支援と貢献を惜しむつもりはありません。

あふれるワイスの魅力は広報のネタにはことかかないのですから。

東日本区事務所報告

東日本区事務所長

小山 憲彦(東京サンライズ)

今年度は馬力のある山田理事の牽引で、各委員会の活動も活発に、会合の機会も増え、残業も増えました。

年末より怪しい雰囲気が漂い、何とか2月始めまでは行事・会議も行うことができましたが、Change! 2022シンポジウムの開催を境にすべての行事が中止なりました。3月はひっそりと隠れるように事務所に出勤し、区費の入金確認、国際会費の送金等の処理。4月には山田理事から「緊急事態宣言が出たのだから事務所には行ってはならない。」との厳命が下り自宅待機。資料がすべて事務所にあり、なかなかテレワークとも行かず、コッソリ事務所に出向くこともありました。活動が滞っているとはいっても、ルーティンでやらねばならないことも残っています。あと少し、頑張ります。ボランティアでお手伝い頂いた皆さま、大変お世話になりました。ありがとうございます。

**ワイスメンズクラブ国際協会 東日本区
2020-2021年度前期 現勢**

部名 クラブ名	2018 7.1	2019 1.1	2019 7.1	2020 1.1	2020.7.1			直近 増減
					入会	退会	差引	
北海道部								
札幌	8	8	8	8	0	0	8	0
北見	13	13	12	11	0	0	11	0
十勝	18	18	17	17	1	0	18	1
札幌北	9	9	9	9	0	0	9	0
クラブ数:4	48	48	46	45	1	0	46	1

北東部								
仙台	16	16	15	15	0	2	13	2
前橋	7	7	7	7	0	0	7	0
宇都宮	29	32	33	34	0	3	31	3
仙台青葉城	12	14	15	15	0	1	14	1
*足利	1	1	1	1	0	0	1	0
*会津	5	5	5	5	0	0	5	0
宇都宮東	8	8	8	8	0	0	8	0
那須	6	6	6	6	0	0	6	0
もりおか	14	14	13	14	0	0	14	0
仙台広瀬川	17	17	16	16	0	1	15	1
石巻広域	23	23	19	18	0	0	18	0
クラブ数:11	138	143	138	139	0	7	132	7

関東東部								
東京江東	21	21	21	21	1	0	22	1
千葉	14	14	15	15	0	1	14	1
東京グリーン	18	17	17	17	0	1	16	1
埼玉	7	7	7	7	1	0	8	1
東京北	12	12	12	14	0	2	12	2
所沢	10	10	9	9	2	0	11	2
東京ひがし	12	11	11	15	0	0	15	0
川越	11	11	10	11	0	1	10	1
茨城	13	12	10	9	0	0	9	0
東京ベイサイド	14	14	14	16	0	1	15	1
クラブ数:10	132	129	126	134	4	6	132	2

東新部								
東京	26	26	26	26	1	0	27	1
東京むかで	13	13	13	12	0	1	11	1
*東京世田谷	14	14	11	11	1	0	12	1
東京町田コスモス	9	9	9	8	0	0	8	0
東京センテニアル	7	8	8	8	0	0	8	0
東京多摩みなみ	13	13	14	14	0	2	12	2
東京町田スマーリング	—	0	11	12	0	2	10	2
クラブ数:7	82	83	92	91	2	5	88	3

部名 クラブ名	2018 7.1	2019 1.1	2019 7.1	2020 1.1	2020.7.1			直近 増減
					入会	退会	差引	

あづさ部								
甲府	35	34	35	35	1	3	33	2
東京山手 (2020年6月解散)	13	13	11	11	0	11	0	11
東京西	16	15	15	13	1	2	12	1
東京武蔵野多摩	12	12	11	12	0	1	11	1
*松本	11	11	11	11	0	1	10	1
東京サンライズ	15	15	15	16	3	0	19	3
甲府21	26	30	32	37	2	1	38	1
東京八王子	17	16	15	16	1	4	13	3
東京たんぼぼ	7	7	7	9	0	0	9	0
*富士五湖	11	11	11	11	0	0	11	0
*長野	12	11	8	9	1	0	10	1
クラブ数:10	175	175	171	180	9	23	166	14

湘南・沖縄部								
横浜	13	13	12	12	2	2	12	0
*沖縄那覇	9	9	1	1	0	0	1	0
鎌倉	8	8	8	9	0	1	8	1
横浜つか	11	12	13	13	0	1	12	1
厚木	16	17	16	16	0	1	15	1
金沢八景	15	15	13	13	0	1	12	1
横浜つづき	17	18	17	18	0	1	17	1
*沖縄	13	13	14	15	0	0	15	0
横浜つるみ	—	0	9	9	0	0	9	0
クラブ数:9	102	105	103	106	2	7	101	5

富士山部								
*熱海	46	45	43	47	2	4	45	2
*沼津	18	18	13	15	0	0	15	0
*伊東	24	24	24	24	0	6	18	6
*三島	11	13	12	12	0	1	11	1
*下田	8	7	7	7	0	0	7	0
*熱海グローリー	17	17	17	15	0	2	13	2
*御殿場	24	24	21	24	0	3	21	3
富士	16	16	16	16	0	1	15	1
*富士宮	19	19	20	20	0	0	20	0
クラブ数:9	183	183	173	180	2	17	165	15

東日本区合計	2018 7.1	2019 1.1	2019 7.1	2020 1.1	2020.7.1			直近 増減
					入会	退会	差引	
総クラブ数	59	59	61	61	クラブ数:60			1
総会員数	860	866	849	875	20	65	830	45

*印のクラブは、担当主事がいないか、または在籍していても

複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

YMCA・ワイズパートナーシップ
検討委員会報告
パートナーシップ委員会リエゾン 山田 公平

東西日本区ワイズから6名、YMCA側から全国総主事会議と同盟を代表する3人が集まり、YMCA・ワイズパートナーシップ検討委員会が2017年秋に始まり、毎年2回集まり、パートナーシップをいかに強めるかなどを検討してきた。

2019年10月の第6回パートナーシップ検討委員会では、YMCAがすべきこと、ワイズがすべきこと、そして両方で行うことなどの提案が出された。特に、パートナーシップとしてすべきことは、ワイズ各部ごと、あるいはYMCA単位でパートナーシップ委員会を設置して、連携した働きの場とすること、災害時の協力の在り方、YMCAリーダーOB/OGを巻き込む考えなどが示された。

2020年4月の第7回委員会は、コロナ禍の中でZoom会議にしたところ、全員参加で有意義な話し合いが持てた。この時だからこそ、一緒に話し合うべきではないかということが全員一致の意見であった。この結果、この考えを検討委員会だけのものにしないで、全国総主事会議、東西日本区に提案することになった。

どんな話し合いが必要か？

1. 困窮するユースへの支援はできないか。
2. ネット社会が、「世代を超えてつながる」、「地域を超えてつながる」を可能にしている。何が目的でつながるかが大切。
3. YMCAもワイズもグローバルネットワークが強い。国境を越えてつながるというテーマで何ができるかを考えたい。会館がなくても利用できるYMCAは何かを考えたい。

全国各地にあるYMCAとその地域のワイズに話し合ってもらいたいことは、

- 1) それぞれの地域で目の前の課題に対してできることは？
- 2) 組織そのものの継続をどう図っていくか？
- 3) 今後考えられる新しいYMCA/ワイズとは？

結論として、YMCAとワイズがこのような課題を話し合い、両者の協力のもと、それぞれの組織で、その成果を実現させる手立てを考える。そのためには各地域での話し合いの機会を作ることを全国総主事会議およびワイズ東西日本区で検討してもらいたい。

日本YMCA同盟活動報告

東日本区担当主事
光永 尚生(日本YMCA同盟)

YMCAとワイズメンズクラブパートナーシップの
更なる推進を願って

山田理事期のキャビネット、役員、各クラブの皆様には、全国のYMCAとの協働、パートナーシップの推進に、1年を通してご奉仕を賜りましたことを心より感謝しあげます。

この1年は、山田理事が当初提唱されました、目標達成に向けた働きが、YMCAとワイズメンズクラブの共通の目標として明確になったことや、YMCAとワイズメンズクラブでリリースされる、印刷物、発信などにおいて、同じ方向性が見えてきたことなど、パートナーシップを推進するうえで、大きな契機となるはずであった矢先に大きな変化が生じました。山田理事期の前半と後半との激変は今までの想像をはるかに超えるものでした。

特に、相互理解を図り、提案型、協働型、支援型などのタイプの違いを意識しながらも、同じ方向性で、東西のワイズメンズクラブが、YMCAとの協働を、ロースターにあるパートナーシップの原則も意識して、推進していくことが確認されたところでした。

YMCAでは、全国の東西日本区エリアにあるYMCAの担当主事(今年度から、役割やハンドブックでの学びを進めるために名称を統一しました)メーリングリストと、ワイズドットコム、YMI、理事通信などのトピックスに関して、区の担当主事から毎回のように、各YMCAの担当主事に対して発信し、共有化を推進しました。それにより、各地域の活動に、全国、東日本区の働きが連動できる部分もあったのではないかでしょうか。担当主事の皆様に対しても、区報、毎月の理事通信、各クラブのブリテンなどへの興味と関心を高めて、次の準備へのきっかけづくりとなったかもしれません。また、様々なご支援によって、アジア大会への参加などが実現でき、多くのユースが、50年ぶりの大会で、国内外の若者たちとの交わりの機会を創れました。この場をお借りして、毎年のご支援に感謝申し上げます。

今年度の最大の課題は、新型コロナウイルス感染の拡大でした。このことは、すべての活動に影響を及ぼす未曾有の事態でした。初めての経験として、最大の交流の機会である東西両区大会が中止となつたことは、私たちにとっても残念な想いであります。

した。担当主事の中には、区大会への参加、担当主事会での再会、協議などを通して、多くの学びと、楽しみへの期待があり、次こそはと、今でも思っているところです。

私たちのワイズメンズクラブとYMCAの働きは、よく、車の両輪に例えられますが、両輪は、同じ方向に進まなければ、本体も進むことができず、曲がるこ

とも叶いません。自動化が進む社会となっていても、運転者はYMCAの誰かであり、ワイズメンズクラブの誰かでありますと願います。そのことは、WITHコロナの時代となった今こそ、新しい価値を創る期待を、私たち自身にいだかせてくれると信じています。私たちの、これから働きが、希望の灯となることを願ってやみません。いつもありがとうございます。



「これからのYMCAのすがた」

第9回日本YMCA同盟協議会 グループディスカッションまとめ

第9回日本YMCA同盟協議会は事前の書面評決の上、6月20日オンラインにて行われた。いくつかの報告、問題提起を受けて、ZOOMのブレイクアウト機能を用いて短い時間であったが、歴史の転換点のいま、これから社会の変化と、YMCAの役割・使命について語り合った。

(7グループの記録をテーマ別で事務局にて編集)

—— 世界とのつながり

- ・東アジアが緊張状態にあり、YMCAでぜひ交流を進めてほしい。

- ・今後、“開発途上国”、辺境の地でコロナが蔓延していく。ただ発症者が増えて死者が増えるだけではなく、経済が問題であり、難民の増加、貧困層の増加、国が変わるということが想定される。私たちは“開発途上国”、アジアとしての関わりに目を向けて活動していきたい。

- ・現在、国際協力プロジェクトがとまっていることが残念。一方で、日本の外にルーツがある人が困難な状況にあり行政のサポートもない。「リトル○○(国や外

国地域名)」というように、コミュニティを作って、自由に集まれる場所を作つてYMCAの留学生が軸になるような活動ができればと考えている。

—— テクノロジーと YMCA(格差・課題)

- ・オンライン授業、全員に環境が整っているわけではない。サポートをどのようにしたらよいか。
- ・オンライン教育からどのように「声なき声を聴く」ことができるか。大学の現場では、学生を「揺さぶる」ことがオンラインでは難しい場面もある。人の熱が伝わるときに、価値観が変わるものではないか。オンラインの使い方がポイントとなる。

■ 日本YMCA同盟協議会リポート

- ・大学では、オンライン授業で学生の参加が促進された部分もある。ラディカルにおもしろいことができる。対面のよき、オンラインのよき、両方があることを実感している。「声なき声を聴く」ときに、オンラインにアクセスできない人の声をどう聴き、支援を届けていくかがポイントではないか。YMCAが大学と社会のハブになるような働きも可能になる。
- ・学校の教員だが、経済的に貧しい人が学習の機会、つながりの機会が奪われている。
- ・フェイス to フェイスがいかに大事かにも気づかされた。これも大切にしたい。
- ・IT活用できない企業は脱落していくだろうが、YMCAは人格を大事にしていくことを核にすれば、そんなに変わることはないと考える。
- ・ITを活用することで、YMCAに戻ってこれるOBなどもいて、そして巡り巡って人との関わり、対面で話すというところに戻っていくのではないか。

—— テクノロジーと YMCA(活用)

- ・オンラインプログラムの開発を強化する。これまで YMCAとつながっていない人とのつながりもある。オンラインでも、そうでなくとも、心をこめて一人一人の違いを認め合い、つながり、社会貢献し、同時に YMCAの財政が維持されることも重要。
- ・これまで体験型、寝食を共にするということが中心だったが、オンラインを用いて新しいYMCAの活動を何か一つやっていきたい。
- ・リモート、オンラインは必要にならざるを得ない。むしろ逆に利用し、全国にYMCAがあることを強みにして、オンラインで県を超えて遠くの人とのコミュニケーションする企画、キャンプもオンラインである程度できる。地域の外国人などのオンラインのネットワークに入れるようにサポートし、就労支援などに取り組みたい。
- ・家にいて近くの人とは会えないが、家の中にいて画面を通して近づける範囲が大きく広がり、オンラインの中でも YMCAができる事をやっていったら活動の幅が広がる。

—— ユースをめぐる課題・期待

- ・大学では、小規模での対面授業が開始された。オンデマンドによる授業も併用で、教員も疲れ果てているが、学生の生活が不規則となり、バイトや YMCA 活動がしにくく、貧困の問題がある。デジタル格差の

課題に、YMCAのユースがどのようにかかわることができるか。ある程度アクセスできる都市Yや学Yのユースは恵まれており、デジタル教育にアクセスできない人たち、子どもたちに与える側、サポートする側なのかもしれない。

・他団体との強みを一つにし、コネクションによってユースを育てること。YMCAのユースが孤立しないことを考えたい。地区リートレがなくなり、先輩リーダーの想いを伝承していくことができない。伝統をどうつなげていくか。

・地区合同リーダートレーニングが実施できなかつた。コロナ後にどうするか。いろいろと変えていくことはもちろんだが(リーダーにとって)スキルはあくまでスキルであって、方法論が目的に影響を与えることがあってはならない。

・ユース育成が課題。YMCAの力を他団体が認めている。他団体からの期待により子どものプログラムを実施する予定であった。他の団体とのタッグをきっちり組んで、ユース、そして子どもに関わること。さまざまなスキルが求められる。オンラインで従来繋がれなかった人とも繋がれる新しい展開で、時代がこれを求めている。第2波、第3波はこれがマスターできていれば困難も乗り越えて行ける。

—— YMCA キャンプ

・YMCAは三密を大切にしてきた。キャンプ事業に影響があり、キャンプ100年のタイミングでキャンプができない苦しみ、悲しみがある。どういう形で収束していくか見えず、全国の智恵を集めたい。

・現地集合・現地解散、バスを使わない。消毒、時間短縮。7割のメンバーが参加を希望してくれている。テクノロジーを使ったデイキャンプの実施等。一つのキャンプを作るのに手間と時間がかかり、収入を期待しないキャンプのあり方をどう作るか。日本YMCA同盟と日本キャンプ協会から北米のキャンプガイドラインを協働翻訳した。日本環境フォーラムの独自ガイドラインもある。ガイドラインを決めること以上にどう使っていくかが課題。

—— ビジョン

・「#はなれていてもつながっているという」メッセージこそが大切。これがあったので、この間、いろいろなつながり方ができた。YMCAならではのつながり方を突き詰めていきたい。

・YMCAのためではなく、地域にポジティブネットを実現させるための募金にチャレンジ。

・いま、ビジョンを描くことには無理がある。世界YMCA同盟総主事の言う「リマジネーション：re-imagination」とは、ある程度、みんなで静かに考える、小さな人数でじっくりと考えを深める取り組みが必要。たとえば、キリスト教のメッセージを自然の中に織り込めるようなプログラムの研究など、基盤を整え、体力を蓄えるとき。(ユースへのプレッシャーやスタッフへの業務過多になり兼ねない)

・いま、緊急避難的にやっていることがすべて日常になるわけではない。家に、自分にこもってしまうことがどんどん大きくなっている。“つながる”を大切に、健康を大切に、YMCAのウエルネスのもつ機能に期待したい。

・スマートコミュニティによる繋がりの構築を。情報が世の中にあふれて、多すぎる。どういう行動をするのか、個々の考え方も違うなかで、ボランティアの活動が状況を解決することに向かうか、弊害になるか。

—— 財政的・組織的課題

・全国のYMCAが大きな額を借り入れする状況。YMCAの経営が危うくなれば、プログラムもできない。借金を返すスキームも考えなくては。困窮者への支援プログラムと同時にYMCA自体の存続プログラム。YMCA間の協力をどうしていくか。

—— 地域とのつながり・他団体との協働

・地域社会との連携の中に教会が出てこなかった。教会にも青少年が少なく、次の働き人をしっかりと養成したい。

・高齢なので、テクノロジーにはついていけない。(山田公平さんの言う)地域密着の可能性のほうが高い。家の周りを散歩する、梅がなっている、このまま落ちる。果実を加工して、梅干しにして配って終わりではなく、販売していく。独居老人の見守り活動も兼ね、地域のボランティア、小学校や中学校と連携してそれを地域ブランドとして、全国で販売する。このような社会貢献型の成果をいまだから出せる事業がある。果樹園構想。自治会ともいろいろとできる。

・地域に根差して、地域の理解も得て、時代に合わせてやってきたYMCA。YMCA運動の基本は、自分たちの周りにいる人たちとの協働があつてこそ。協働のスパイラルが内向きになると弱まる。誰と組むか、

キリスト教の価値観を共有でき一緒にできる団体が望ましい。それは「自分ごととして世界のことを考える意識」でもある。

・YMCAの中で培ってきたものを手放すことはない。私たちのファンデイジングのコンテンツに実際に入り込んでいないYMCAの姿があるのである。

・他団体との協働、行政との協働、YMCAは自信をもって、働きかけていくべき。コロナをきっかけに、YMCA理解を深めた行政マンもいる。地域の様々な問題、高齢者、自治会、学童保育、行政の関わりからYMCAのような専門性に委託を踏まえて、地域に溶け込むこと。多様性や格差のない社会などを織り込んだ活動を展開していく。

・他団体とのネットワークをしっかりと。広く使命を伝えるために、公益協働事業を進めること。スマートコミュニティによる繋がりの構築。

・行き過ぎたグローバル化、市民、YMCAが大切にしてきた地域をもっと大切にしたい。

・行政が本当に遅れていることを実感した。行政と連携して行政を変えていかないといけない。

(文責:日本 YMCA 同盟事務局)

■ 第1回役員会議事録

2019-2020年度

第1回東日本区役員会議事録

日時:2019年7月6日(土)10時30分～17時00分

場所:日本YMCA同盟JRM会議室

出席者:34名(内議決権者15名中14名)

欠席者:片山 啓地域奉仕・YMCAサービス事業主任

記録:東日本区書記 山下 真

1. 開会式(10:30～11:00)

開会点鐘:山田敏明理事

ワイズソング、ワイズの信条:一同

開会挨拶:山田敏明理事

出席者確認:山下書記より出席者と欠席者の報告。出席は34名、議決権者は15名中14名

議長:山田理事が東日本区定款第8条2項の定めにより、本役員会の議長を務める旨を述べた。

役員会成立の宣言:議長は議決権者の出席状況が定款第8条第4項の定める要件(議決権者の2/3以上の出席)を満たしており、役員会が有効に成立したことを宣言した。

議事録署名人選出:議長は板村次期理事と利根川文献・組織検討委員会委員長を指名した。

配布・使用書類確認(事前配布 ワークブック1点・当日配布8点)

・2019-2020年度第1回役員会ワークブック

・第1回役員会ワークブック(配布追補版)

会長アンケート集計、文献・組織検討委員会方針、広報伝達(PR)専任委員方針

・第23回東日本区大会予算案(差替)

・東日本区区報第1号

・2018-2019年度東日本区会計決算(案)

・東日本区決算監査報告書(鈴木茂・漆畠義彦)

・感謝の気持ちをJEFへ(高田一彦)

・アジア・太平洋YMCA大会 ワイズメンズクラブ対象の部分参加のご案内(光永尚生)

・北東部大会2019(鈴木伊知郎)

2. 議案審議(11:00～11:30)

出席議決権者:15名中14名

採決方法:挙手

■ 第1号議案「2018-2019年度東日本区第4回役員会議事録承認の件」 (提案者:宮内直前理事)

議長の指名により宮内直前理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。

ワークブック作成時のレイアウトの崩れと文字1字を重複の指摘を受けて修正を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

■ 第2号議案「2018-2019年度東日本区年次代議員会議事録承認の件」 (提案者:宮内直前理事)

議長の指名により宮内直前理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。

(質問) 年次代議員会の議事録署名人選出や署名のタイミングを適正なものに明記する必要があるのではないか?

(回答) 定款細則の変更を伴う判断を監事にお願いしたい。

(補足) その後、監事からの意見でこの課題に対する諮詢は文献・組織検討委員会があたることになった。

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

■ 第3号議案「2019-2020年度東日本区会合での礼拝献金贈呈先の件」 (提案者:山田理事)

議長は議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。提案内容が2018-2019となっていた部分を2019-2020と修正する。

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。贈呈先は以下の通り。

・東日本区東日本大震災支援募金

・熊本YMCA支援募金

但し、緊急に対応を行う必要がある案件が発生した場合は常任役員会の決議により、贈呈先を変更することもあり得る。

■ 第4号議案「2018-2019年度会計決算報告および会計監査報告承認の件」 (提案者:宮内直前理事)

議案名・提案内容がいずれも2017-2018となっていたものを2018-2019と修正する。

宮内友弥直前理事・長谷川あや子直前会計・小山憲彦東日本区事務所長より本議案の説明をおこなった。また、漆畠義彦監事が監査結果について報告をおこなった。

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

■ 第5号議案「特別委員会 Change!2022推進委員会の設置について」 (提案者:札埜会員増強事業主任)

提案内容のChange!のC文字が欠落しているのを修正する。

議長の指名により札埜EMC事業主任が本議案の内容について説明を行い、Change!2022推進委員会の栗本委員長より追加説明を行う。

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

■第6号議案「第23回東日本区大会登録費の件」
(提案者:山田理事)

ワークブックで第6号議案「EMC事業委員会活動計画について」が本来は報告事項の内容で議案案件として適当でないため、これを議案から削除し、ワークブック上、第7号議案となっている本議案を第6号議案として取り扱うこととした。更に予算案の内容を当日配布資料の予算(案)に差し替える。

議長は議案書に基づき本議案の内容について説明をおこなった。

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

・登録費は下記のとおり

メンバーおよびパートナー	18,000円
ユース登録費	10,000円

3. アジア太平洋地域・国際現状報告(11:30～12:00)

田中博之アジア太平洋地域会長からプロジェクトによるスライドで説明があった。

<集合写真撮影、昼食、休憩>(12:00～13:00)



4. 区活動計画(13:00～13:40)

ワークブックに掲載の資料を用いて方針、計画の説明があった。

- ① 理事方針(山田敏明理事)
- ② 地域奉仕・YMCAサービス事業主任(片山啓事業主任欠席のため山下書記より説明)
- ③ 会員増強事業主任(札埜慶一事業主任)
- ④ 国際・交流事業主任(板村哲也事業主任)
- ⑤ ユース事業主任(渡辺大輔事業主任)

5. 各部活動計画(13:40～14:20)

ワークブック・区報に掲載の資料を用いて方針、計画の説明があった。

- ① 北海道部(宮崎善昭部長)
- ② 北東部(鈴木伊知郎部長)
- ③ 関東東部(金丸満雄部長)
- ④ 東新部(小川圭一部長)

⑤ あずさ部(赤羽美栄子部長)

⑥ 湘南・沖縄部(森田幸二郎部長)

⑦ 富士山部(長田俊児部長)

6. 委員会活動計画(14:20～14:50)

ワークブック・当日配布資料に掲載の資料を用いて方針、計画の説明があった。

- ① 文献・組織検討委員会(利根川恵子委員長)
- ② LT委員会(北村文雄委員長)
- ③ JEF運営委員会(高田一彦委員長)
- ④ ワイズメネット委員長(瀧谷実季委員長)
- ⑤ Change!2022推進委員会(栗本治郎委員長)

<休憩>(14:50～15:05)

7. 専任委員等活動計画(15:05～15:45)

ワークブック・当日配布資料・区報に掲載の資料を用いて方針、計画の説明があった。

- ① 東日本大震災支援対策本部(山田敏明本部長)
- ② ヒストリアン(仙洞田安宏ヒストリアン)
- ③ ITアドバイザー(大久保知宏アドバイザー)
- ④ トラベルコーディネーター(長澤山泰コーディネーター)
- ⑤ 広報・伝達(PR)専任委員(山下真委員)
- ⑥ YMCA関連(光永尚生担当主事)
- ⑦ 東日本区事務所(小山憲彦事務所長)

8. 協議(15:45～16:40)

山田理事の発議によりChange!2022推進委員会・栗本治郎委員長の進行で各部の会員増強・新クラブ設立に向けた進捗状況を情報交換。

各クラブ会長へのアンケート集計結果に基づき各クラブの目標会員数について検討した結果、Change!2022推進委員会が掲げる東日本区1,246名の実現は決して実現不可能な数字ではなく、SNSの活用とメンバー一人一人の努力によっては必ず成し遂げられるものと檄が飛ばされた。

東京町田スマイルリングクラブがアンケート集計用紙に重複して掲載されている指摘を受けて後日、未回答クラブの回答も付け加えた上で修正することとした。

9. 監事講評(16:40～16:50)

漆畠義彦監事ならびに辻剛監事より講評が行われた。

(漆畠義彦監事)

5月30日以降の会計監査について承認を頂いたが、本来は前年度の役員が執行したものと本年度の役員が承認する形となっている。

この問題点を解消するために3月31日までを完全決算で終わらせ、その後は未払科目で運用していくべき前年度の役員の承認をもって会計が完結することになる。

行政監査について部長報告は書き方がバラバラであ

■ 第2回役員会議事録

る。出来うるなら統一した書式で書いておけば、第1回から第3回までの報告を第4回までにまとめてもらえば、一年間の報告として自然にまとまる。是非、統一した書式のような取り組みを進めてもらわればと思う。

監事としては第3回役員会以降、中途半端な時期に行政監査を書き出すことになるが、そのことも配慮して統一した書式で共通した流れを共有できるような仕組みを考えていただきたい。

また、過去に起きた、ある事件がメンバー数の減少という結果をもたらしたと思っている。

ネット情報の流失による損害は甚大でありWEBパトロールを怠ることなく組織をしっかりと守って欲しい。

(辻剛監事)

山田理事の掲げた理事主題「勇気ある改革、愛ある行動」は重くて深い意味を持っていると思います。東日本区の活性化のためには勇気をもって改革を進めなければならない。

一方、改革には痛みが伴います。その改革により変わることを強いられる人々・組織に対しては、理屈でなく温かい愛の気持ちをもって接していく、と決意を述べられています。

私も陰ながら改革を進める理事の背中をそっと押してあげたいと考えています。

10. 連絡事項(16:50～16:55)

① 本日の懇親会の案内

11. 閉会式(16:55～17:00)

- ① YMCAの歌:一同
- ② 閉会挨拶:板村哲也次期理事
- ③ 閉会点鐘:山田敏明理事

【第1回東日本区役員会出席者】

[議決権保持者](15名)

常任役員:山田敏明理事、宮内友弥直前理事、板村哲也次期理事、山下真書記、増中文明会計

事業主任:札埜慶一会員増強事業主任、板村哲也国際・交流事業主任、渡辺大輔ユース事業主任

部長:宮崎善昭北海道部長、鈴木伊知郎北東部部長、金丸満雄関東東部部長、小川圭一東新部部長、赤羽美栄子あざさ部部長、森田幸二郎湘南・沖縄部部長、長田俊児富士山部部長

[役員会構成メンバー](14名)

漆畑義彦監事、辻剛監事、利根川恵子文献・組織検討委員長、北村文雄LT委員長、高田一彦JEF運営委員長、瀧谷実季ネット委員長、仙洞田安宏ヒストリアン、大久保知宏ITアドバイザー、長澤山泰トラベルコーディネーター、山下真広報・伝達(PR)専任委員、仙洞

田安宏副書記、相川達男副会計、酒向裕司副会計、光永尚生担当主事、小山憲彦東日本区事務所長
[オブザーバー](3名)

田中博之アジア太平洋地域会長、長谷川あや子前年度会計、深尾香子(東京多摩みなみ)

議事録署名人

次期理事

板村哲也

議事録署名人

文献・組織検討委員長

利根川恵子

2019-2020年度

第2回東日本区役員会議事録

日時:2019年11月2日(土)10時30分～17時15分

場所:日本YMCA同盟JRM会議室

出席者:26名(内議決権者15名中13名)

欠席:増中文明会計・森田幸二郎湘南・沖縄部部長

記録:東日本区書記 山下 真

1. 閉会式(10:30～11:00)

閉会点鐘:山田敏明理事

ワイズソング、ワイズの信条:一同

閉会挨拶:山田敏明理事

出席者確認:出席は26名・議決権者は15名中13名

議長:山田敏明理事(東日本区定款第8条2項の定めによる)が議長を務める旨を述べた。

役員会成立の宣言:議長は議決権者の出席状況が定款第8条第4項の定める要件(議決権者の2/3以上の出席)を満たしており、役員会が有効に成立したことを宣言した。

議事録署名人選出:板村次期理事と利根川文献・組織検討委員会委員長を指名

配付・使用書類確認(事前配付 ワークブック1点・当日配布8点)

・2019-2020第2回役員会ワークブック

・2019-2020第2回役員会ワークブック<追加>

・2019-2020年度地域奉仕・YMCAサービス事業活動報告

・2019-2020年度東日本区文献・組織検討委員会活動報告

・Change!2022ニュースNo.1-No.4

・ポジティブネットYMCA募金台風19号・15号被災地支援 チラシ

・「ワイズメネットのつどい」のご案内

・在京ワイズ合同新年会 チラシ

・あざさ部大会 チラシ

2. 区活動報告(10:40～11:23)

ワークブックに掲載の資料を用いて活動の報告があつた。

- ① 理事報告(山田敏明東日本区理事)
- ② 地域奉仕・YMCAサービス事業(片山啓事業主任)
- ③ 会員増強事業(札埜慶一事業主任)
- ④ 国際・交流事業(板村哲也事業主任)
- ⑤ ニュース事業(渡辺大輔事業主任)

3. アジア太平洋地域・国際現状(11:25～11:45)

田中博之アジア太平洋地域会長よりアジア太平洋地域NDERF支援金が山田東日本区理事に直接手渡された。田中アジア太平洋地域会長よりプロジェクトによるスライドで国際協会のチャレンジ22を中心に説明があつた。

4. YMCA報告(11:45～12:00)

光永尚生YMCA担当主事からポジティブネットYMC A募金を中心に台風・洪水被災地支援の取り組みについて説明があつた。

＜集合写真、昼食、休憩＞(12:00～13:00)

5. 各部活動報告(13:00～14:10)

ワークブックに掲載の資料を用いて活動の報告があつた。

- ① 北海道部(宮崎善昭部長)
- ② 北東部(鈴木伊知郎部長)
- ③ 関東東部(金丸満雄部長)
- ④ 東新部(小川圭一部長)
- ⑤ あずさ部(赤羽美栄子部長)
- ⑥ 湘南・沖縄部(森田幸二郎部長が欠席のため山下書記から説明)

6. 委員会活動報告(14:10～15:10)

ワークブック・当日配布資料に掲載した資料・口頭で報告があつた。

- ① 文献・組織検討委員会(利根川恵子委員長)
- ② LT委員会(北村文雄委員長)
- ③ JEF運営委員会(高田一彦委員長)
- ④ ワイズメネット委員会(瀧谷実季委員長)
- ⑤ Change!2022推進委員会(栗本治郎委員長)
- ⑥ ヒストリアン(仙洞田安宏ヒストリアン)
- ⑦ ITアドバイザー 大久保知宏ITアドバイザー欠席のため山下書記から「全メンバー宛メーリングリスト」について説明があり、監事からの修正説明も受けたが、内容が役員会になじまないと片山啓地域奉仕・YMCAサービス事業主任の動議に小川圭一東新部部長のセカンドが付き論議は中断された。

- ⑧ 東日本区事務所人事委員会(板村哲也委員長)

＜休憩＞(15:10～15:25)

7. 議案審議(15:25～16:55)

出席議決権者:15名中13名

採決方法:举手

■第1号議案「2019-2020年度東日本区第1回役員会議事録承認の件」(提案者:山田理事)

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

■第2号議案「第22回東日本区大会会計決算承認の件」(提案者:宮内直前理事)

大会経費削減を大会実行委員会の努力で成し遂げ、剰余金1,051,900円を計上した。

宮内友弥直前理事から支出内容の詳細の説明を受け、剰余金処分案を次の通りとしたい旨報告を受ける。

- ① JEFへの献金 22万円
- ② 東京YMCAリーダー養成支援金 30万円
- ③ 日本YMCAポジティブネットYMCA募金(台風19号・15号被災地支援)531,900円

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

なお東日本区大会決算書(案)に提案者を掲載するなど一部訂正の指摘があり、更に監査報告書に修正が入ったため、再度、議決権者に訂正の上、送付することとした。

第3号議案としてワークブックに掲載していた「2020-2021年度東日本区役員承認の件」については、代議員会承認案件であることから今役員会では報告事項として取り扱うこととし、板村哲也次期理事より報告を受けた。

従って、ワークブックでは第4号議案「Change!2022推進委員会規則、施行細則の制定」として掲載していた議案を第3号議案として記録に残す。

■第3号議案「Change!2022推進委員会規則、施行細則の制定について」(提案者:札埜会員増強事業主任)

議案名を「Change!2022推進委員会規則・Change!2022推進委員会施行細則の制定について」とする修正を行い、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

■第4号議案(ワークブックでは第5号議案) 「Change!2022シンポジウムの開催について」 (提案者:札埜会員増強事業主任)

■ 第2回役員会議事録

議案書補足として添付された、Change!2022シンポジウム(案)の提案者「東日本区会員増強事業主任 札埜慶一」を「東日本区理事 山田敏明」と「東日本区 Change!2022推進委員長 栗本治郎」の間に移動する修正を行った上で、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

第6号議案としてワークブックに掲載していた「ヨーブリストの作成」は片山啓地域奉仕・YMCAサービス事業主任としては協議提案書として提出したとのことで、議案から下げて、報告として説明を受けた中で協議した。

データベースの管理、利用については、東日本区WEBサイト管理者に依頼したいとの要望を受ける。以上からワークブック第7号議案「ワイス・YMCAパートナーシップ委員会の委員の増員について」は繰り上がり第5号議案として記録する。

■ 第5号議案「ワイス・YMCAパートナーシップ委員会の委員の増員について」

(提案者:片山地域奉仕・YMCAサービス事業主任)
東西両区で構成するワイス・YMCAパートナーシップ委員会委員に当該年度の東日本区理事を加えることを確認し、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

■ 第6号議案(ワークブック<追加>では第8号議案) 「新入会員に対する東日本区大会登録費補助の件」

(提案者:山田理事)

議長がChange!2022運動のより着実な推進に資することを目的とする趣旨を説明し、高田一彦JEF委員長より補足説明を受けた。

本件は10月26日の次期部長・事業主任研修会での参加者の意見を受けたことが提案の動機となっている。議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

■ 第7号議案(ワークブック<追加>では第9号議案) 「ポール・ウイリアムス・アレキサンダー基金遺産計画」 実施のための献金」 (提案者:山田理事)

今年度はハンドブックに理事目標が既に掲載されており、それに基づくクラブ運営が始まっている事情を鑑みて、今年度はJEFからの取り崩しで献金を行う。次年度以降は理事目標に一人あたりの献金額を示しながら「ポール・ウイリアムス・アレキサンダー基金遺産計画」実施のための献金目標額の達成を図りたいとの趣旨説明を議長が行った。

本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員

の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

8. 監事講評(16:55~17:15)

漆畠義彦監事ならびに辻剛監事より講評が行われた。
(漆畠義彦監事)

役員会としてスピードを感じた。ひとつ例をあげれば、部長の報告が、統一した内容の話し方になっていた。同じ内容で話しをしているので理解がよく、互いに刺激をうける部分もあった。

第1回目は、それぞればらばらの内容を、ばらばらな話し方をしていて聞き取るのも大変だった。

定款を守るということもあるのだろうが時代の流れのか一つ一つやることが固くなってきた。固くなることが100%いいことではない。

決めることは決めて柔軟に対処することが必要であり、全体にその姿勢が貫いていたと思う。SNSは分かる人には分かるが、怖いという部分が何であるかも、分からない人が多い。そんなことはないと答えないんじゃないくて、だからここが怖いんだという説明もあわせて丁寧にサポートすることが必要だと思う。

(辻剛監事)

最近の東日本区の運営は非常にいい雰囲気の中で機能していると思います。

宮内直前年度から、山田年度、板村次期年度、大久保次々期年度を通じて「東日本区はこのままではだめだ。変わらなくてはならない」という共通認識が根底で共有されているように思います。

最近、山田理事が取り組んだ改革の具体的な例として「登録費補助」があげられると思います。先日開催された「次期部長・役員研修会」では、LT委員会の発案でいくつかのグループに分かれ、様々な課題に対してお互いに自分の考えをぶつけるような、今までの座学方式にはない画期的なシステムが取り入れられました。

その中から国際、アジア地域、東日本区、部等の各大会への参加者がややともすると固定化されていて、新入会員を含め新しい参加者が少ない。このような状況を打破し、様々なメンバー、とりわけ新入会員がそこに参加できるようなインセンティブとして、「登録費の補助」のアイデアが提案された。これを受け、山田理事以下現執行部は直ちに行動を開始し、常任役員に持ち回り稟議で了解を取り、財源の確保は高田一彦委員長をはじめJEF委員会の皆様のご理解を得て、本日「東日本区大会登録費補助の件」として議案提案された。この制度が今後会員の定着、増強につながることを期待しています。

さらに、EMC事業委員会およびChange!2022推進委員会がfacebookなどの新しい手法を取り入れて、時代に即した動きを進み始めました。これらの取り組みにより、

2022年の会員増強目標、1246名は必ず達成できると期待しています。

一方で、一部の規則などにまだ整備されていない部分も散見され、今後、早急に整理していく必要があると考えています。事実関係も確認しつつ、必要な場合には新たに提案させていただきたいと考えています。

9. 連絡事項(17:05~17:10)

第3回役員会(新旧合同)を諸般の事情を考慮し予定より1週間延ばして4月11日~12日に東山荘にて開催したい。

10. 閉会式(17:10~17:05)

- ① YMCAの歌:一同
- ② 閉会挨拶:板村哲也次期理事
- ③ 閉会点鐘:山田敏明理事

【第2回東日本区役員会出席者】

〔議決権保持者〕(13名)

常任役員:山田理事、宮内直前理事、板村次期理事、山下書記

事業主任:片山地域奉仕・YMCAサービス事業主任、札埜会員増強事業主任、板村国際・交流事業主任、渡辺ユース事業主任

部長:宮崎北海道部部長、鈴木北東部部長、金丸関東東部部長、小川東新部部長、赤羽あずさ部部長、長田富士山部部長

〔役員会構成メンバー〕(12名)

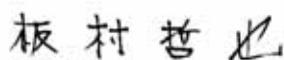
漆畑監事、辻監事、利根川文献・組織検討委員長、北村LT委員長、高田JEF運営委員長、瀧谷メネット委員長、仙洞田ヒストリアン、山下広報・伝達(PR)専任委員、仙洞田副書記、酒向副会計、光永担当主事、小山東日本区事務所長、

〔オブザーバー〕(1名)

田中アジア太平洋地域会長

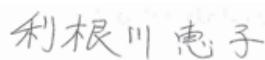
議事録署名人

次期理事



議事録署名人

文献・組織検討委員長



2019-2020年度

第3回東日本区役員会(現・次期合同)議事録

日時:2020年4月11日(土)~4月20日(月)

・マーリングリストによる審議

4月11日(土)~4月17日(金)現役員会メンバーのみ

・FAX並びにメールでの投票

4月18日(土)~4月20日(月) 議決権者のみ

・ビデオ会議による質疑、情報交換

4月13日(月)午後7時~午後8時20分 現・次期員

記録:東日本区書記 山下真

1. 審議(4月11日(土)~4月17日(金))

辻剛監事から第13号議案「新入会員に対する東日本区大会登録費補助規定の制定」に関し、「申請者にクラブだけではなく部も追加すべきである」との勧告を受け、常任役員会で取り扱いを協議した結果、勧告を受け入れ、ワークブックの差替を行った。

その他については役員会メンバー マーリングリストに、意見・質疑の投稿はなされなかった。

2. 投票(4月18日(土)~4月20日(月))

提出された議案は以下の通り、FAX・メールによる議決権者全員の採決を行った結果、すべての議案が可決された。

■第1号議案 「2019-2020年度東日本区第2回役員会議事録承認の件」 (提案者:山田理事)

■第2号議案 「次年度の東日本区事務所長選任の件」 (提案者:山田理事)

小林隆メン(沼津クラブ)の所長就任が了承された。

■第3号議案 「2020-2021年度東日本区理事方針の件」 (提案者:板村次期理事)

■第4号議案 「2020-2021年度東日本区役員承認の件」 (提案者:板村次期理事)

■第5号議案 「2020-2021年度東日本区会計予算承認の件」 (提案者:板村次期理事)

■第6号議案 「第25回東日本区大会ホストクラブ立候補の件」 (提案者:山田理事)

■第7号議案 「2020-2021年度東日本区理事次々期理事および 2020-2022 年度監事承認の件」 (提案者:宮内直前理事・区役員候補者指名委員会委員長)

■第8号議案 「東日本区常置委員会規則「東日本区ワイス基金」改訂承認の件」 (提案者:山田理事)

■第9号議案 「奈良傳賞選考委員会規則改正の件」 (提案者:山田理事)

■第10号議案 「ワイスメンズクラブ国際協会東日本区個人情報保護方針およびワイスメンズクラブ国際協会東日本区事務所個人情報保護規則の制定について」 (提案者:山田理事)

■ 第3回役員会議事録

- 第11号議案 「ワイスメンズクラブ国際協会東日本区SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)使用ガイドラインの制定について」 (提案者:山田理事)
- 第12号議案 「新クラブ設立支援金規則の制定について」 (提案者:山田理事)
- 第13号議案 「新入会員に対する東日本区大会登録費補助規則の制定について」 (提案者:山田理事)
- 第14号議案 「次期代議員会議長選任の件」 (提案者:山田理事)
- 第15号議案 「東京山手ワイスメンズクラブ解散の件」 (提案者:山田理事)

3. ビデオ会議システム(Zoom)による質疑・情報交換

(4月13日(月)午後7:00～午後8:20)

非公式な会議として開催したオンライン会議であるが、記録として内容を掲載する。

【出席者】

・今期役員

山田敏明理事、板村哲也次期理事、宮内友弥直前理事、山下 真書記、札埜慶一会員増強事業主任、渡辺大輔ユース事業主任、鈴木伊知郎北東部部長、金丸満雄関東東部部長、小川圭一東新部部長、長田俊児富士山部部長、大久保知宏次々期理事、辻剛監事、利根川恵子文献・組織検討委員長、栗本治郎Change!2022推進委員長、高田一彦JEF委員長、仙洞田安宏副書記、相川達男副会計、酒向裕司副会計、小山憲彦東日本区事務所長、光永尚生YMCA担当主事

・次期役員

小山久恵次期書記、小原史奈子次期地域奉仕・Yサ事業主任、伊藤幾夫次期会員増強事業主任、米長晴信次期国際・交流事業主任、南澤一右次期北東部部長、加藤義孝次期東新部部長、御園生好子次期あさ部部長、古田一彦次期湘南・沖縄部部長、駒田勝彦次期文献・組織検討委員長、吉田公代次期副会計

山田敏明理事あいさつ

かつて経験したことない状況の中で我々ワイスメンズクラブの活動がこういう時だからこそ、力をあわせて何か出来たら素晴らしいと思う。

そういう意味で今回の話し合いが意義のあるものであることを期待したい。

(1)ワーケブック

- ・会員増強関係の報告がなかった点を指摘され、何らかの書類が必要であることから、それを付け加えた上で最終的に完成させ後日配布することとした。
- ・新クラブ設立支援金について、当初のクラブのみを申請者とする内容を改め、部も申請者と明示する内容で

差し替える理事提案を了承した。

(2)年次代議員会

- ・状況を勘案し各クラブ・各部からの議案の提出期日を5月15日(金)とする。
- ・招集状・議案書は5月30日(土)までに配信する。
- ・代議員会のために用意するメーリングリストを審議の場として、6月21日(日)まで、質疑・意見を受け付ける。

(3)次期理事からの次年度事業方針・計画の説明

- ・計画日程は強調月間や国際関係が大きく変わっている。
- ・達成目標の中で「ポール・ウイリアムス・アレキサンダー遺産計画」実施のための献金の担当は事業主任とせず、理事キャビネットとした。今年度は125万をJEFより拠出することが第2回役員会で承認されており、来年度以降残額を自由献金で当てる計画となっている。
- ・予算の提示はこのままで行くが、今後の状況を見て修正することもありうる。板村年度予算の前期繰越金は山田年度予算の次期繰越金をそのまま当てはめている。

(4)Yサ・CSのプルタブ収集事業

- ・今年度はやらない。今期、各クラブで既に集めた部分は対応する。
- 小山憲彦東日本区事務所長から各クラブで集めた部分に対応する旨発言があり、今後の対応については個別対応も含めて片山啓地域奉仕・YMCAサービス事業主任と相談することになった。

(5)各部報告

・北東部(鈴木伊知郎部長)

各クラブで集まれていないことに非常に危機感を持っている。

・関東東部(金丸満雄部長)

第3回評議会の中止も含めて後半の活動が消化不良となっている。千葉ウエストの設立総会を6月20日(土)船橋教会で開催する予定をしている。

・東新部(小川圭一部長)

部大会の延期開催以降、すべての活動がとまってしまっている。公式訪問も滞っているが、電話での話し合いは継続してやっている。

町田スマイルングクラブの太田さんが新宿にワイスメンズクラブを作りたいと熱意をもって準備してきた。山手クラブからの転会者も含めて少しづつメンバーを確保しつつある。

東京クラブではweb会議が開催されている。世田谷クラブもそれに倣う動きがある。

・富士山部(長田俊児部長)

熱海でのマスク贈呈は「つながりマスク」の先駆け。下田でもweb会議を始めようとしている。

(6) YMCA報告(光永尚生担当主事)

- ・春からのプログラムを停止していく、夏のプログラムについては検討中である。
- ・光永は同盟会館にいるので在宅勤務の小山憲彦東日本区事務所長と連携しながら、協力していきたい。
- ・4月から5月に祈りの会の提案を東西日本区の皆さんに行いたい。500名での参加が可能な環境を整えた。日程調整中であり決まつたらワイスドットコム等で連絡を差し上げたい。

(7) その他

- ・集会が出来ない状況下で入会式の取り扱いをどうするかについては、各クラブに入会の取り決めや規定はあるが、それぞれの工夫では是非、入会希望者に対応してほしいとの意見があった。
- ・板村年度を2年間としてはどうかという意見が寄せられているが、板村哲也次期理事から当初の計画を堅持したいとの意向がしめされた。

(8) 監事講評

辻剛監事より講評が行われた。

- ・役員会議事録には監事講評があったとのみ記されており、内容の記載がない。監事講評は重要な意味をもっていると考えているので改善を求める勧告を受けた。

(9) 板村哲也次期理事あいさつ

- ・ワイスの持っている社会的な責任(新型コロナウイルスの蔓延を防ぐ)という自覚をもって、メンバー相互のつながりを強く持つということを考えながら頑張っていきたい。

議事録署名人

次期理事

板村 哲也

議事録署名人

文献・組織検討委員長

利根川 恵子

2019-2020年度

第4回東日本区役員会議事録

日時:2020年5月27日(金)～6月9日(火)

- ・メーリングリストによる審議
5月27日(金)～6月5日(金)
- ・ビデオ会議
6月5日(金)午後7時～午後8時20分
- ・FAX並びにメールでの投票
6月6日(土)～6月9日(火) 議決権者のみ

ビデオ会議による討議、採決

出席者:26名(オブザーバーを含む)(議決権者15名中10名)

欠席者:増中文明会計、札埜慶一会員増強事業主任、赤羽美恵子あづさ部部長、森田幸二郎湘南・沖縄部部長、長田俊児富士山部部長

記録:東日本区書記 山下真

1. 開会式(20:00～20:10)

開会点鐘:山田敏明東日本区理事

ワイスソング、ワイスの信条:省略

開会挨拶:山田敏明東日本区理事

開会宣言については省いた。

出席者確認:出席は24名・議決権者は15名中10名

議長:山田敏明東日本理事(東日本区定款第8条2項の定めによる)が議長を務める旨を述べた。

配付・使用書類(すべて事前配付 3点)

・2019-2020第4回役員会ワークブック

・2019-2020年度年次代議員会議案書(案)

・2019-2020年度年次報告書(案)

2. 区活動報告・部活動報告・委員会活動報告、

YMCA報告

以上は年次報告の配布をもって今回は省いた。

3. 議案審議(20:10～21:15)

出席議決権者:15名中10名

採決方法:挙手

■第1号議案「2019-2020年度東日本区第3回役員会議事録承認の件」 (提案者:山田理事)

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって原案どおり承認された。

■第2号議案「第1回・第2回東日本区役員会議事録の追加修正について」 (提案者:山田理事)

監事講評と東日本区ワイス基金運営委員長から議事録の追記を求められ、その内容が適正と判断し、補足追加したい。

■ 第4回役員会議事録

記録としては正しいが代議員会の処理に一部変更があったことが議長から説明があった。

議事録署名人から署名方法について確認を受けた。議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

■第3号議案「2019-2020年度東日本区年次報告書の承認について」 (提案者:山田理事)

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

■第4号議案「2019-2020年度東日本区会計中間決算報告および会計監査報告の件」 (提案者:山田理事)

JEF募金の内容で1名分が昨年のものだったので、修正して差し替えると報告があった。

JEF資金の出金が明細(Change!2022)に280万円、ポール・W・アレキサンダー基金に125万円)を付記しないと分かりづらいのではないかとの指摘があった。

監事より、元帳の開示請求に応じられる点とJEF委員長の年間報告で支出の内容が記載されることから原案通り代議員会に付議されることとした。

■第5号議案「次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補指名の件」

(提案者:宮内直前理事・区役員候補者指名委員会委員長)

宮内指名委員長から説明があり、次年度の次々期理事については、コロナウイルス感染防止のため外出自粛の要請もあって足が止まっており、足を運んで依頼できるタイミングで選考指名活動を再開したいとの説明を受けた。

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

■第6号議案「2020-2021年度前期の区費の徴収を行わない件」 (提案者:板村次期理事)

山田理事が各クラブ会長との電話による説明で多くの賛同を得ている内容と合わせて、予算の見込みについて板村次期理事より説明があった。

これに対して、これだけ多くの区費収入が失われた場合に本当に活動ができるのか質問があった。

各クラブが動けていない時に区費徴収は困難であることや、今後、いつまで活動を自粛しなければならないのか不明な部分はあるが、その反面、経費が発生しないこともあることを説明し、最低限の活動は行えるとの説明を受けた。

議長が本議案の賛否を諮ったところ、賛成(举手)多数をもって原案どおり承認された。

■第7号議案「プルタブ(プルトップ)収集の終了に関する件」 (提案者:片山地域奉仕・YMCAサービス事業主任)

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

■第8号議案「Webライセンスの取得と管理について」

(提案者:片山地域奉仕・YMCAサービス事業主任)

■第9号議案「東日本区にビデオウェブ会議のツール導入の件」 (提案者:板村次期理事)

両議案は同じ趣旨でなされており、議案8号を削除、議案9号を議案8号として繰り上げたいと議長が諮ったところ賛同を得た。

以上からワークブック第8号議案「Webライセンスの取得と管理について」を削除、第9号議案「東日本区にビデオウェブ会議のツール導入の件」は第8号議案として記録する。

■第8号議案「東日本区にビデオウェブ会議のツール導入の件」 (提案者:板村次期理事)

板村次期理事から提案趣旨内容を受けた後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

■第10号議案「CS・Yサ・ASF資金運用規定」運用について

(提案者:片山地域奉仕・YMCAサービス事業主任)

本件は出席者から議案というより協議がふさわしいとの発言があり、議長が議案から削除し協議事項として取り扱うこととした。

今後のYサ・ASFの支出に関しては事前に役員会の報告をするという原則を守ることを確認した。

■第9号議案(ワークブックでは議案11号)

「第23回ワイスメンズクラブ国際協会東日本区大会の中止に係る諸経費の負担について」

(提案者:鈴木北東部部長)

新型コロナの発生という不測の事態で中止となった第23回東日本区大会の準備経費をホストクラブの十勝クラブではなく、やむを得ない不可抗力による特例として東日本区で負担しようとする提案を審議した。

議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(举手)をもって原案どおり承認された。

■第10号議案(ワークブックでは議案12号)

「郵便による臨時代議員会実施の件」

(提案者:山田理事)

山田理事から予定議案である、1.「2019-2020年度東日本区会計決算・監査報告の承認について」、2.

「2020-2021年度東日本区補正予算の承認について」に、議案3、「2020-2021年度次々期理事指名の件」を追加したい提案がなされ、計3議案につき議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員の賛成(挙手)をもって承認された。

4.協議(21:15~21:25)

「今期の終わり方について」
理事からは以下の概要が説明された。

- ・表彰については理事表彰のみで奈良傳賞は行わない。各委員会については各事業主任にリストアップをお願いしたい。表彰内容は、書記が何らかの手段で全員にお伝えしたい。
- ・交代式は理事だけがバッチの交換を行う形で6月29日(月)に行いたい。

これをうけて今後の予定について確認をおこなった。また、現役員と新役員の引き継ぎや各部の状況報告の機会の重要性を考えると今後も継続したZoom会議の開催の必要性を確認した。

意見交換会という目的で次のビデオ会議の開催月日を6月19日(金)とした。

5.監事講評(21:25~21:30)

漆畠義彦監事ならびに辻剛監事より講評が行われた。
(漆畠義彦監事)

Zoom会議のいいところ悪いところが見えてきているが、書類を見ながらスムーズに話ができるメリットを感じている。仕事も8割がZoom会議である。

19日に再度開催ということだが輪を広げながらよりよいものとしていきたい。

(辻剛監事)

回数を重ねるに従ってビデオ会議も充実した内容となってきている。できるなら参加したみなさんが一人一発言してもらえたらと思う。

苦しい時に、全員が前例もない事態に努力されていくことに感謝申し上げたい。

6.閉会式(21:30~21:32)

- ① YMCAの歌:省略
- ② 閉会挨拶:板村哲也次期理事
- ③ 閉会点鐘:省略

7.連絡事項(21:32~21:35)

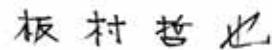
光永YMCA同盟担当主事より、日本YMCA同盟共同の祈りについてのアピールがあった。

【第4回東日本区役員会出席者】

- 〔議決権保持者〕(10名)
常任役員:山田敏明理事、宮内友弥直前理事、板村哲也次期理事、山下真書記
事業主任:片山啓地域奉仕・YMCAサービス事業主任、板村哲也国際・交流事業主任、渡辺大輔ユース事業主任
部長:鈴木伊知郎北東部部長、金丸満雄関東東部部長、小川圭一東新部部長
〔役員会構成メンバー〕(12名)
漆畠義彦監事、辻剛監事、利根川恵子文献・組織検討委員長、高田一彦JEF運営委員長、瀧谷実季メネット委員長、栗本治郎Change!2022推進委員長、仙洞田安宏ヒストリアン・副書記、山下真広報・伝達(PR)専任委員、相川達男副会計、酒向裕司副会計、光永尚生担当主事、小山憲彦東日本区事務所長
〔オブザーバー〕(2名)
小山久恵次期書記、小林隆次期東日本区事務所長

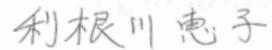
議事録署名人

次期理事



議事録署名人

文献・組織検討委員長



2019-2020年度

年次代議員会議事録

日時(開催基準日):2020年6月28日(日)

実施月日:2020年6月10日(水)~6月28日(日)

開催方法:

メーリングリストによる審議 6月10日(金)~6月21(日)
FAX、郵送並びにウェブフォームでの投票

6月22日(月)~6月28日(日)

出席者:60名(書面議決の提出者を出席者とする)

記録:東日本区書記 山下 真

メールでの議案審議ならびにウェブフォームによる投票結果

■第1号議案「2019-2020年度東日本区年次報告」

(提案者:山田 敏明理事)

全員の賛成をもって原案通り承認された。

■ 代議員会議事録

■第2号議案「2019-2020年度東日本区会計中間決算報告および監査報告の件」（提案者：山田敏明理事）
全員の賛成をもって原案通り承認された。

■第3号議案「東日本区常置委員会規則「東日本区ワズ基金」改正承認」（提案者：山田敏明理事）
全員の賛成をもって原案通り承認された。

■第4号議案「次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補者指名の件」
(提案者：宮内友弥直前理事・区役員候補者指名委員会委員長)

議案配付時点で具体的な候補者が掲載されなかつたことを理由に、当日配布の候補者資料の配付を待たずに反対票を投じられた方がおられた。

次期理事(2020-2021年度理事)、板村哲也(東京武藏野多摩)、次年度の次期理事(2021-2022年度理事)大久保知宏(宇都宮)、次期監事(2020-2021年度監事)
辻剛(横浜つづき)（継続、2年任期2年目として）、次期監事(2020-2021年度監事)漆畠義彦(富士)（新任、任期満了となる今期に引き続き再任）

次年度の次々期理事(2022-2023年度理事)については、臨時代議員会までには指名を行い承認を受けることを前提として候補者未定として提案された。

新型コロナウイルスの感染拡大と都道府県を跨いでの移動制限があり、指名活動に大きな支障があった事情について書記から補足説明があつた。

以上の提案を賛成多数で原案通り承認された。

■第5号議案「第25回東日本区大会ホストクラブ立候補の件」（提案者：山田敏明理事）

北東部・宇都宮クラブが第25回東日本区大会ホストクラブとして立候補された。

開催月日：2022年6月4日（土）～5日（日）

開催地：栃木県宇都宮市

ホストクラブ：宇都宮クラブ

全員の賛成をもって原案通り承認された。

■第6号議案「2020-2021年度東日本区理事方針の件」
(提案者：板村哲也次期理事)

全員の賛成をもって原案通り承認された。

■第7号議案「2020-2021年度東日本区役員承認の件」
(提案者：板村哲也次期理事)

全員の賛成をもって原案通り承認された。

■第8号議案「2019-2020年度東日本区予算の件」
(提案者：板村哲也次期理事)

賛成多数で原案通り承認された。

<質疑応答>

質問：ユースボランティアリーダーズフォーラムが会計に組み込まれているが、1クラブ2万円の支出はクラブ会計の組み立てにも影響を与える。中止の方向で論議が進んでいると聞いてるので、その部分を削った予算案を組み直すか、このままの形で納入するが中止が決定された場合は返金あるいは来年の徴収をスキップすることを確認してはどうか？

回答：現在代議員会に提出している次年度予算（案）は3月初めの常任役員会、4月の第3回役員会で承認、代議員会に提出したもので、YVLFを実施する前提のものである。

しかし、予算案作成後の諸手続き中に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、次期上期の区費の徴収を行わないことやYVLFの中止など、次期の予算に関係するいくつかの事象が生じた。次期上期の区費の件は、予算に大きな影響があるが、代議員会での承認が必要であり、この承認前に予算（案）を変更することはできなかった。

よって、上期区費の件が承認された場合に、修正予算（案）を次年度第1回役員会（7月11日）を経て、臨時代議員会（8月末を予定）に上程することとした。

この時、区費のことのみならず、YVLF中止に伴う収支の変更やその他のことも修正予算（案）に反映する予定です。

■第9号議案「2020-2021年度前期の区費の徴収を行わない件」（提案者：板村哲也次期理事）

新型コロナウイルスの感染拡大により区の活動が制限されることが予想され、更にクラブの運営を優先させることが重要との認識から2020-2021年度前期の区費の徴収をおこなわない。

これに伴う補正予算は第1回役員会を経て、臨時代議員会に提出する。

全員の賛成をもって原案通り承認された。

■第10号議案「郵便による臨時代議員会実施の件」

（提案者：山田敏明理事）

多数の賛成をもって、原案どおり承認された。

臨時代議員会の議案：

- ・「2019-2020年度東日本区会計決算・監査報告承認の件」
- ・「2020-2021年度東日本区補正予算の承認について」
- ・「次年度の次々期理事候補者指名の件」

【配布資料】

- ・2019-2020年度年次代議員会議案書
- ・2019-2020年度年次代議員会年次報告書
- ・第4号議案「次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補者指名の件」の提案内容

ワイズメンズクラブ国際協会
2019-2020年度
東日本区理事 山田 敏明様

東日本区行政監査報告書

私たちは、東日本区定款第15条第2項(1)の規定に基づき、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の2019-2020年度の行政監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

監査日時:2020年7月5日午後1時よりオンライン監査(ZOOM)

監査立合人:理事 山田敏明

書記 山下 真

事務所長 小山憲彦

1.はじめに

(1)「行政監事は、第11条の理事の任務が正常に執行され、区における内部統制システムが機能しているか確認する。」と規定されています。(東日本区定款 第19条 監事の任務 第3項)。

即ち、当該年度において、理事の職務の執行が定款に適合することを確保する体制が維持されていたかを確認します。違法行為や不正、ミスやエラーなどが行われることなく、組織が健全かつ有効・効率的に運営されるよう基準や手続きを定め、それに基づいて管理・監視・保障等の業務が適正に行われているか確認します。

(2)一方、今年度の我々を取り巻く状況は、特に下半期は激変しました。従いまして、今年度の分析・評価は上半期と下半期に分けて以下報告いたします。

2.上半期

(1)上半期は、従来の通常生活様式の中でのワイズ活動に取り組みました。

①7月のアジア太平洋地域大会も成功裡に開催できた。

②各部の部大会も予定通り開催しました。(残念ながら湘南・沖縄部部大会は2月下旬に予定していたためコロナ禍で中止になりました。)

③第1,2回区役員会も予定通り開催。

④9月、ユースボランティアリーダーズフォーラム開催。

⑤10月、「次期部長・事業主任研修会」開催。今回の研修会は座学方式でなく、課題にたいして参加者が具体的な提案を行うなど、LT委員会が運営に創意工夫をほどこしていました。提言を受けた山田理事もスピーディな決断、根回し(関係各位の賛同を電話での取り付けなど)でリーダーシップを発揮され、新入会員に対する区大会への参加費用を東日本区が負担する議案を第2回役員会で承認を得ました。

⑥全般的に山田理事は強いリーダーシップを発揮し、健全かつ有効・効率的な運営をされたことは高く評価できます。

3.下半期

(1)下半期は全く状況が激変しました。「はじめ」のなかで述べましたように定款では、「理事の任務が正常に執行され、区における内部統制システムが機能しているか確認する」としています。しかし、世界を襲った新型コロナの感染拡大という異常事態の中、どこまで「正常に執行できるのか」誰も予想できませんでした。未曾有の事態で前例、凡例に頼ることもできず、執行部は区の運営について大変困難な判断を迫られました。

(2)政府から緊急事態宣言が発出され自粛生活を強いられる状況で、誰も経験したことのない、動けない、集まれない、会えない状況の中で、YMCAサポート、地域奉仕等の活動を含め、すべて中止になりました。唯一、Change ! 2022シンポジウムはぎりぎりコロナ禍から逃れ2月初旬に区主催で開催出来ました。この会員増強運動が区全体を巻き込んでこれから大いに盛り上がる事が期待されたのですが、直後からコロナ禍に見舞われ若干トーンダウンしていることは残念であります。

■ 行政監査報告

(3)しかし、一方では、活動そのものはできなくても東日本区という組織を存続させるために必要最低限の機能を維持し、運営は続けなければなりません。異常事態ではありましたができる限り定款に定められている職務の執行については(健全かつ有効・効率的に運営されたかどうかは別として)定款に適合するように概ね実行しました。

(4)常任役員会、役員会、その他の委員会等もオンライン会議を実施し、必要最低限の審議、予定された回数等は概ね実施しました。

(5)残念ながら、東日本区大会も中止の決断をせざるを得ませんでしたが、理事就任式・引継式は少人数ながら実施し、オンラインで皆さんに視聴していただきました。

(6)下半期を全体的に振り返ると、山田理事以下執行部は、緊急時の対処に当たって適正な判断ができたと考えます。それは、基本的にワイルズには強い理念と理想があり、それがこのような危機時の判断には大きな力を発揮するバックボーンになり、山田理事のスピーディで適格な判断と実行力のあるリーダーシップにつながったと考えられ、高く評価したいと思います。

4.要望事項および指摘事項

(1)緊急事態対処条項(仮称)の検討の要望

①専門家の間では第2の感染の波は必ず来るといわれています。中長期的にも、今回のような新型コロナの感染拡大による世界的なパンデミック、地震、津波等を含む天変地異が今後起きる可能性は否定できない状況です。

②このような不可抗力ともいえる異常事態においては定款の柔軟かつ適切な運用が求められます。今回の経験も参考にして緊急時対応の基本原則や定款規則の部分的解除を可能にするガイドライン(条項)の作成を早急に検討するべきと提案いたします。東日本区は任意団体であり日本の法人資格を持っていません。「東日本区定款」および「施行細則」が唯一の判断基準であるゆえ、その一層の充実が必要と考えます。

(2)現行会計体制の見直しと「会計委員会(仮称)」設置の提言

①現在使用している会計システムにつきましては、これまでに都度改善努力をしてまいりましたが、現行会計体制は区事務所長に業務の多くを委ねているのが実情です。そのような観点から見れば、現在の会計システムは、まだまだ改善・改良の余地があり、最善の体制作りと役割分担の明確化および適正化を図る必要があると考えます。過去を振り返り反省点は参考にし、近い将来の法人化対応も視野に入れながら、他のシステムも含め早急に会計処理システムの検討、見直しを行いたいと考えます。

②主な検討の内容は以下の項目です。

- i . 会計体制の在り方(「東日本区会計マニュアル(仮称)」の作成を含む)。
- ii . 会計処理の在り方。
- iii . 法人化対応の会計について。
- iv . その他

③これらを検討するために東日本区定款第11条第8項に基づいて、理事により「会計委員会」を新設していただきたい要望いたします。

具体的には、既に2020--2021年度板村哲也理事のもとで「会計システム勉強会」が発足しております。この勉強会を発展的に「会計委員会」に移行し、上記項目の検討を開始したいと思います。なお、この委員会は所期の目的を達成した後に解散いたします。

(3)会計担当不在問題に対する指摘

①年度初めから増中文明会計が体調を崩されほぼ年度を通して会計担当不在が続きました。増中会計の健康問題はいたし方のないもので一日も早いご回復をお祈りするばかりでありますが、長期離脱の目途が立った時点で代役なりを立てるべきではなかったかと思料します。代理または代役を置かないということは理事以下執行部の皆さんのがカバーしたわけで、それだけ皆さんの負担増になったはずであります。

②当該年度は、副会計を2名任命した訳ですから、この中から新規あるいは代理を指名するという選択肢は

あったと考えます。いまだに一部の方が誤解をしているようですが、副書記・副会計の任務はかつての理事事務局(長)の呼称が替わっただけと思っている節が見受けられます。副書記・副会計はあくまでも理事の任務を円滑に遂行するために任命されるのです。(定款 第11条 第11項)

③内部統制システムの観点から見れば、東日本区の運営は、一定のリスク管理について理事・役員の属人性に依拠するのではなく、体制として整備することを意識しなければならないと考えます。さらにいえば、現金・預金等の管理には複数の担当が関わることが原則であり、今年度は単一の担当がこれらの管理に当たっていたことになり、好ましい状況ではありませんでした。

④問題発生時期からいって、本件はコロナ問題とは関係なく、別途適切に対処すべきであったと考えます。

⑤本件に関しては、監事として適宜意見具申を怠ったことを深く反省しています。

5. 終わりに

要望ではかなり辛口の意見を申し上げましたが、年度を通していえば、山田理事、山下書記以下、執行部の皆様の多くはお仕事を抱えながら、強い義務感を持って、犠牲を払い、大変な努力と適格な対応でこの困難を乗り切っていただきました。高く評価させていただくと共に深く感謝申し上げます。ワイスメンズクラブ東日本区の理念は、どんなときも夢と希望と理想を持ち、チャレンジすることあります。今年度の山田理事以下執行部皆様の任務の遂行にあたっての判断力と実行力を見ればこれからも暫くは続くと思われる“withコロナ”的時代を東日本区は必ず乗り越えられると信じます。

ワイスメンズクラブ国際協会

2019-2020年度

東日本区監事 漆畠 義彦 

東日本区監事 辻 剛 

ご挨拶

2018-2020年度アジア太平洋地域会長/国際議員
田中 博之(東京多摩みなみ)



東日本区の皆さまの
日頃のワイスダムへのご
奉仕に、国際協会、ア
ジア太平洋地域の活動
へのご協力に、そして、
私の2年間の務めをお
支えいただいたことに深
く感謝申しあげます。

特に、昨年7月に仙台
で開催された、アジア
太平洋地域大会、アジ

ア太平洋地域ユースコンボケーションにおいては、東
日本区の皆さまのご尽力とご協力で、当初の目標を超
える参加者のもと、成功の内に開催することができま
したことに、あらためて心から感謝申しあげます。

未だ、新型コロナウイルスによって世界中でワイスの
活動が大きく制約されています。しかし、このようなとき
にあっても、日本中で、世界中で、様々な工夫のもと、
地域社会に対して、生活困窮者支援や感染防止に向
けての取り組み等を行っているクラブ、また、ウェブ会
議等でコミュニケーションを維持されているクラブが沢
山あることに大いに勇気づけられます。このようなときこ
そが私たちの真価を発揮できる機会と捉えたいと思
います。

ワイスメンズクラブ国際協会は、2022年の創立100周年
年に向けて、守るべき伝統・遺産を受けついで、次の
100年につなげていくとともに、新しい時代に相応しい
組織、体制、サービスの提供を「チャレンジ22」として全
世界で推進しています。現在、活動の制約の中にあっ
ても、掲げたトーチの炎を消さない様に、出来る限りの
ことを行っています。東日本区の皆さまの「Change !
2022」がコロナ禍の危機を乗り越える力の源としても、また、「チャレンジ22」の東日本区における取り組みとし
ても活発に推進され、世界のワイスの先頭となって歩んで
いただこうと願っています。

どうか、皆さまのクラブが、地域のYMCA、コミュニ
ティーへの奉仕活動のグループとして活躍されつつ、
国際協会の一員として、アジア太平洋地域、世界のワ
イスメンズクラブとの連帯の中で、国際憲法の綱領で
示されている「全人類のためにより良い世界を築くこと」
を意識して積極的に活動していただければ幸いです。

この1年間の東日本区の皆さまの良いお働きと残された
課題が次期に継承され、一層発展されること、そして皆さ
まのご健康をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

第28回アジア太平洋地域大会報告

第28回アジア太平洋地域大会実行委員会・事務局長
山本 剛史郎(川 越)

第28回アジア太平
洋地域大会が2019
年7月19日～21日の
3日間、仙台国際セ
ンターにて行われま
した。アジア(太平
洋)地域大会は2015

年に京都で行われていますが、東日本区としては1999
年に十勝で行われて以来20年ぶりの開催となりました。

参加者は東日本区から273名、西日本区から269名、
海外から168名、来賓3名、そして公開講演として一般
参加者70名の783名でした。また同時期に開催された
AYC(Asia Pacific Area Youth Convocation、アジア太
平洋地域ユース・コンボケーション)に28名と総勢811
名もの参加者となり盛会となりました。大会そのものは
AYCも含めて、少々のトラブルはあったものの、誰一人
怪我することなく、2日目のエクスカーションも天候に恵
まれ、皆様のご協力のもと無事に終了することができま
した。

2011年の東日本大震災という災害の恐ろしさと復興
を日本国内のみならず世界の人々に実際に来て、見て、感じてもらうことができたと思います。そして大会期
間中にはアジア太平洋地域・自然災害緊急支援基金
(NDERF)として66,909円、RBM(ロール・バック・マラ
リア)に64,896円、東日本大震災みやぎこども育英基金
に1,050,664円がそれぞれ献金されました。また、大会
終了後にも2,000,000円もの献金が東日本大震災支援
プログラムのためにささげられました。東日本大震災支
援プログラムは仙台YMCAと仙台地域の4ワイスメンズ
クラブ(仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域)を
中心に今現在も進められております。

新型コロナウイルスが世界的に猛威を奮い、また台
風・豪雨災害などによる被害が毎日のようにニュースに
なっています。私事になりますが、私自身も2019年10
月の台風19号により勤め先の職場は浸水被害に遭
い、今現在も仮設の施設にて働いております。その意味
からも様々な自然災害に対する備え、そしてワイスメ
ンズクラブの協力・支援といったものがますます必要な
ものに感じます。

最後にご協力いただいた皆様、特に仙台YMCAのス
タッフ、仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域ワ
イスメンズクラブに皆様に感謝いたしたいと思います。
ありがとうございました。



大会スケッチ



【大会マーシャルの皆さん】



【公開講演会】

- ・「東日本大震災からの復興と防災への取り組み」
宮城県知事・村井 嘉浩様(写真左)
- ・「あなたと子どもを災害から守る方法」
危機管理教育研究所代表・国崎 信江様(写真右)



【ワイス・YMCAアワー】

村井伸夫仙台YMCA総主事(左)と光永尚生日本YMCA同盟主事(右)による「各地での災害支援レポート」



【エクスカーション:大川小学校にて】

【エクスカーション】

①海岸線コース

(仙台市内～荒浜～岩沼～閑上) 参加者123人

②津波の現実と復興を知るコース

(南三陸～大川小学校～石巻) 参加者115人

③震災に耐えた松島を巡るコース

(東松島～松島) 参加者291人

④福島を知るコース

(福島第一原発20km圏内) 参加者119人

2019-2020年度 東日本区表彰一覧



理事 表彰

東日本区奈良傳賞

本年度は新型コロナウイルスの感染防止の観点から東日本区大会が中止となり、共に受賞を喜び合う環境なく、選考を控えさせて頂きました。

最優秀クラブ賞

本年度は新型コロナウイルスの影響で、ほぼ半年間、各クラブの活動ができなかったことを考慮し、公平なる選考材料に欠けることから選考ができませんでした。

理事特別賞

北東部並びに仙台4クラブ(仙台、仙台青葉城、仙台広瀬川、石巻広域)
アジア太平洋地域大会仙台大会の成功を支えて戴きました。

ブリテン優秀賞

本年度は新型コロナウイルスの発生により活動の自粛がみられ、どのクラブも記事の確保に苦労されておりました。この状況を配慮し今年度の表彰を見送ることとします。

地域奉仕・YMCAサービス事業表彰

地域奉仕活動特別賞

仙台広瀬川クラブ

2016年よりメネット活動の一環としてエプロンシアターを製作し、保育園等に寄贈をするなど、地域の保育園や幼稚園、及び児童館への奉仕を実施。これまで、7作品を製作・寄贈し、現在、8作目(桃太郎)を製作中。子供たちだけではなく、先生や保護者からも活動であり、CS活動として高く評価できる。

YMCAサービス特別賞

仙台4クラブ(仙台、仙台青葉城、仙台広瀬川、石巻広域)

「新型コロナに負けるな！」応援活動として、5月上旬から仙台4クラブ(仙台広瀬川・門脇代表)は、外出自粛の中でアルバイトもできない中で頑張る仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校の留学生への食糧の配布。また、厳しい環境下で子供たちの預かり保育を頑張っているYMCA職員に向け、12施設を訪問し252名の職員にお茶とお菓子セットを激励メッセージと共に贈呈。さらに、市内の畑で栽培された取り立てのホウレンソウを留学生、日本人学生、父兄、職員等に配布。

これらの活動を、混乱の中、ワイヤー18名に加え、ワイヤー以外にも専門学校スタッフ、教会関係者、農業生産者等12名の地域の方々と共に敏速に行ったことを高く評価。

CS献金貢献賞(一人当たり)

1位:横浜つか(3,846円)、2位:東京たんぽぽ(3,242円)、3位:東京サンライズ(2,594円)

CS献金達成賞

十勝、宇都宮、仙台青葉城、会津、宇都宮東、那須、東京江東、千葉、東京グリーン、所沢、東京ひがし、川越、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、松本、甲府21、東京八王子、富士五湖、横浜、鎌倉、厚木、金沢八景、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、三島、御殿場、富士宮 (34クラブ)

年賀切手収集協力賞

1位 山田修司さん(熱海)140枚、2位 安田克己さん(熱海) 104枚
 東京グリーン、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、東京たんぽぽ、熱海(5クラブ)

ASF献金貢献賞(一人当たり)

1位:富士五湖(1,000円)、2位:東京町田スマイリング(850円)、3位:東京多摩みなみ(792円)

ASF献金達成賞

十勝、宇都宮、東京江東、千葉、東京グリーン、所沢、東京ひがし、川越、東京、東京世田谷、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府21、東京たんぽぽ、横浜、横浜つづき、横浜つるみ、熱海、沼津、伊東、御殿場(25クラブ)

FF献金貢献賞(一人当たり)

1位:東京グリーン(1,500円)、2位:熱海(1,000円)、3位:東京多摩みなみ(792円)

FF献金達成賞

十勝、東京江東、千葉、所沢、東京ひがし、川越、東京、東京世田谷、東京町田コスモス、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府21、東京たんぽぽ、横浜、鎌倉、横浜つづき、横浜つるみ、沼津、伊東、御殿場(24クラブ)

会員増強事業表彰**EMC-E部門****新クラブ設立賞**(期間内にチャーターしたクラブのスポンサークラブ・部)

横浜つるみクラブ(2019年6月16日チャーター) スポンサー部湘南・沖縄部

EMC-M部門**最優秀賞**(最も多くの新入会員を獲得したクラブ)

熱海 (9名)

優秀賞(最優秀クラブに次いで新入会員を獲得したクラブ)

甲府21(8名)、東京ひがし(4名)、御殿場(4名)、宇都宮(3名)、仙台青葉城(3名)

努力賞(2名の新入会員を獲得したクラブ)

東京江東、東京北、東京ベイサイド、東京たんぽぽ、沼津

EMC-C部門**出席率最優秀賞**(100%)

該当クラブなし

出席率優秀賞(90%以上)

下田(99%)、三島(96%)、熱海(94%)、沼津(92%)、甲府21(91%)

■ 表彰一覧

ノンドロップ賞(退会者ゼロ)

札幌、十勝、札幌北、前橋、宇都宮、足利、会津、宇都宮東、那須、もりおか、東京江東、千葉、埼玉、東京北、東京ひがし、川越、東京ベイサイド、東京、東京センテニアル、東京多摩みなみ、甲府、松本、東京サンライズ、東京たんぽぽ、富士五湖、鎌倉、横浜とつか、金沢八景、横浜つづき、沖縄、横浜つるみ、伊東、富士、富士宮 (34クラブ)

グッドスタンディング賞(会員15名以上達成)

東京ひがし(11名⇒15名)、東京ベイサイド(14名⇒16名)、沖縄(14名⇒15名)、沼津13名⇒15名)

EMC特別賞

Change! 2022ニュース編集長 伊丹一之さん(東京むかで)

Change!2022ニュースを毎月発行され、会員増強事業に多大な貢献をされました。

飯田歳樹さん(東京ひがし)4名、野々垣健五さん(甲府21)4名、越智京子さん(東京たんぽぽ)2名(石巻広域へ)1人、深澤勇弘さん(熱海)3名、大久保知宏さん(宇都宮)2名、荻野 清さん(甲府21)2名、田中秀宝さん(熱海)2名、大村貴之さん(沼津)2名、堀口廣司さん(御殿場)2名
国際の表彰とは別に、東日本区として期間内の会員増強に多大な貢献した方を表彰いたします。

国際・交流事業表彰

BF献金貢献賞(一人当り)

1位:伊東(4,500円)、2位:東京(2,854円)、3位:東京多摩みなみ(2,685円)

BF献金達成賞

十勝、札幌北、東京江東、千葉、東京グリーン、所沢、東京ひがし、川越、東京、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、鎌倉、横浜つづき、横浜つるみ、熱海、沼津、伊東、三島、御殿場、富士 (31クラブ)

BF使用済み切手収集優秀賞

1位:仙台(5,460円)、2位:十勝(2,974円)、3位:甲府(1,548円)

BF使用済み切手収集協力賞

仙台広瀬川、東京グリーン、埼玉、川越、東京、東京多摩みなみ、東京西、東京サンライズ、甲府21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、長野 (13クラブ)

TOF献金貢献賞(一人当り)

1位:東京たんぽぽ(2,600円)、2位:東京多摩みなみ(2,453円)、3位:東京サンライズ(1,833円)

TOF献金達成賞

十勝、札幌北、仙台、宇都宮、仙台青葉城、会津、宇都宮東、仙台広瀬川、東京江東、千葉、東京グリーン、所沢、東京ひがし、川越、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイルイング、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、鎌倉、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、三島、御殿場、富士、富士宮(37クラブ)

RBM献金貢献賞(一人当り)

1位:東京多摩みなみ(1,673円)、2位:東京たんぽぽ(1,600円)、3位:東京サンライズ(1,000円)

RBM献金達成賞

十勝、札幌北、東京江東、千葉、東京グリーン、所沢、東京ひがし、川越、東京、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京山手、東京西、東京武藏野多摩、松本、東京サンライズ、甲府21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、鎌倉、金沢八景、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、三島、御殿場（30クラブ）

YES献金達成賞

十勝、東京江東、千葉、東京グリーン、所沢、東京ひがし、川越、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマーリング、甲府、東京山手、東京西、東京武藏野多摩、松本、東京サンライズ、甲府21、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、御殿場（25クラブ）

IBC締結賞

十 勝（台北ダウンタウン、京都ウエストとIBCトライアングルを締結）

ユース事業表彰**YIA優秀賞**

もりおか

福島へのスタディツアーや、北東部主催のユースリーダーズアクトへのユース支援は素晴らしいものがあったと思います。ほぼ毎回例会にユースを招き、YMCAの活動にも積極的に参加し、盛岡YMCAの活動も活発で、YVLFへも多数の参加者がありました。

次年度、ユース事業主任を輩出され今後さらに発展、飛躍に期待を込めて。

YIA推進賞（仙台でのAYCにユース派遣クラブ）

札幌、十勝、宇都宮、川越、東京サンライズ

STEP協力賞

該当クラブなし

ロースター広告協力賞

十勝、札幌北、仙台、宇都宮、仙台青葉城、那須、仙台広瀬川、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、川越、茨城、東京、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京センテニアル、東京山手、東京西、東京武藏野多摩、松本、東京サンライズ、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、鎌倉、横浜とつか、厚木、横浜つづき、熱海、熱海グローリー、富士（35クラブ）

全献金達成クラブ（献金事業7種全てを目標達成したクラブ）

十勝、東京江東、千葉、東京グリーン、所沢、東京ひがし、川越、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京山手、東京西、東京武藏野多摩、松本、東京サンライズ、甲府21、東京たんぽぽ、横浜、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、御殿場（23クラブ）

ワイスメネット事業表彰**ワイスメネット委員会特別賞**

仙台広瀬川 メネット会

メネット会のエプロンシアターの活躍を継続して行い、ワイス活動への貢献も大である。

■ 献金一覧

2019-2020年度クラブ別各種献金一覧

クラブ名	基礎 人数	BF			TOF			CS			ASF		FF	RBM	YES	EF	
		現金	切手	合計	現金	年賀	合計	現金	年賀	合計	現金	年賀	合計	現金	年賀	合計	
札幌	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北見	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
十勝	16	32,000	2,974	34,974	20,800	20,000	0	20,000	8,000	8,000	12,800	8,000	0	0	0	0	
札幌北	9	18,000	0	18,000	11,700	0	0	0	0	0	7,200	0	0	0	0	0	
仙台	15	0	5,460	5,460	19,500	18,750	0	18,750	0	0	0	0	0	0	0	0	
前橋	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宇都宮	32	0	0	0	41,600	40,000	0	40,000	16,000	0	0	0	0	0	0	0	
仙台青葉城	15	0	0	0	19,500	18,750	0	18,750	0	0	0	0	0	0	0	0	
足利	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*会津	5	0	0	0	6,500	6,250	0	6,250	0	0	0	0	0	0	0	0	
宇都宮東	8	6,400	0	6,400	10,400	15,000	0	15,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
那須	6	0	0	0	0	7,500	0	7,500	0	0	0	0	0	0	0	0	
もりおか	13	9,000	0	9,000	12,200	6,400	0	6,400	3,400	6,848	6,300	4,100	0	0	0	0	
仙台広瀬川	16	0	714	714	20,800	20,000	0	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
石巻広域	19	10,000	0	10,000	15,000	24,700	0	24,700	3,000	3,000	3,000	5,000	0	0	0	0	
東京江東	18	36,000	0	36,000	23,400	22,500	0	22,500	9,000	9,000	14,400	9,000	0	0	0	0	
千葉	15	30,000	0	30,000	19,500	18,750	0	18,750	7,500	7,500	12,000	7,500	0	0	0	0	
東京グリーン	17	34,000	282	34,282	22,100	21,250	3,189	24,439	8,500	25,500	13,600	8,500	0	0	0	0	
埼玉	7	0	456	456	7,800	7,500	0	7,500	0	0	4,800	3,000	0	0	0	0	
東京北	12	22,000	0	22,000	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0	0	0	0	
所沢	9	18,000	0	18,000	11,700	11,250	0	11,250	4,500	4,500	7,200	4,500	0	0	0	0	
東京ひがし	10	20,000	0	20,000	13,000	12,500	0	12,500	5,000	5,000	8,000	5,000	0	0	0	0	
川越	10	20,000	180	20,180	13,000	12,500	0	12,500	5,000	5,000	8,000	5,000	0	0	0	0	
茨城	10	13,000	0	13,000	8,450	8,125	0	8,125	3,250	3,250	5,200	3,250	0	0	0	0	
東京ベイサイド	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京	25	70,500	840	71,340	30,500	28,800	0	28,800	12,500	18,500	23,100	10,800	0	0	0	0	
東京むかで	12	20,000	0	20,000	13,000	12,000	0	12,000	5,000	0	8,000	0	0	0	0	0	
東京世田谷	11	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	6,000	6,000	9,600	6,000	0	0	0	0	
東京町田コスモス	9	1,600	0	1,600	9,100	8,750	0	8,750	3,500	4,500	6,400	3,500	0	0	0	0	
東京センテニアル	8	3,000	0	3,000	2,000	3,000	0	3,000	500	500	500	500	0	0	0	0	
東京多摩みなみ	11	29,000	540	29,540	26,980	21,250	0	21,250	9,500	9,500	18,400	10,500	0	0	0	0	
東京町田スマーリング	11	0	0	0	14,300	13,200	0	13,200	9,350	0	0	5,500	0	0	0	0	
甲府	34	68,000	1,548	69,548	44,200	42,500	0	42,500	17,000	17,000	27,200	17,000	0	0	0	0	
東京山手	11	22,000	0	22,000	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0	0	0	0	
東京西	13	30,000	55	30,055	19,500	18,750	0	18,750	7,500	7,500	12,000	7,500	0	0	0	0	
東京武蔵野多摩	11	22,000	0	22,000	14,300	13,750	3,800	17,550	5,500	5,500	8,800	5,500	0	0	0	0	
*松本	11	22,000	0	22,000	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0	0	0	0	
東京サンライズ	12	30,000	1,430	31,430	22,000	18,750	12,375	31,125	7,500	7,500	12,000	7,500	0	0	0	0	
甲府21	32	64,000	595	64,595	41,600	40,000	0	40,000	16,000	16,000	25,600	16,000	0	0	0	0	
東京八王子	15	30,000	316	30,316	19,500	18,750	0	18,750	0	0	12,000	0	0	0	0	0	
東京たんぽぽ	5	10,000	663	10,663	13,000	12,500	3,708	16,208	3,500	2,500	8,000	2,500	0	0	0	0	
*富士五湖	11	22,000	1,287	23,287	14,300	13,750	0	13,750	11,000	0	8,800	5,500	0	0	0	0	
*長野	8	9,000	761	9,761	5,850	5,625	0	5,625	2,250	2,250	3,600	2,250	0	0	0	0	
横浜	12	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	6,000	6,000	9,600	6,000	0	0	0	0	
*沖縄那覇	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鎌倉	8	16,000	0	16,000	10,400	10,000	0	10,000	0	4,000	6,400	0	0	0	0	0	
横浜とつか	13	0	0	0	0	50,000	0	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
厚木	16	10,000	0	10,000	10,000	20,000	0	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
金沢八景	13	0	0	0	0	16,250	0	16,250	0	0	10,400	0	0	0	0	0	
横浜つづき	16	32,000	0	32,000	20,800	20,000	0	20,000	8,000	8,000	12,800	8,000	0	0	0	0	
*沖縄	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
横浜つるみ	9	18,000	0	18,000	0	0	0	0	4,500	4,500	0	0	0	0	0	0	
*熱海	42	84,000	0	84,000	54,600	52,500	35,678	88,178	21,000	42,000	33,600	42,000	0	0	0	0	
*沼津	12	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	6,000	6,000	9,600	6,000	0	0	0	0	
*伊東	18	81,000	0	81,000	23,400	22,500	0	22,500	9,000	9,000	14,400	9,000	0	0	0	0	
*三島	12	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	0	0	9,600	0	0	0	0	0	
*下田	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*熱海グローリー	17	30,000	0	30,000	19,500	18,750	0	18,750	7,500	7,500	12,000	7,500	0	0	0	0	
*御殿場	21	42,000	0	42,000	27,300	26,250	0	26,250	10,500	10,500	16,800	10,500	0	0	0	0	
富士	15	30,000	0	30,000	19,500	18,750	0	18,750	0	0	0	0	0	0	0	0	
*富士宮	20	0	0	0	26,000	25,000	0	25,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他																113,960	
合計		1,160,500	18,101	1,178,601	903,880	944,350	58,750	1,003,100	278,750	288,848	448,100	268,900	113,960				

2019-2020年度 東日本区期末決算

2020. 6. 30

項目	2019-20予算	2019-20 期末決算	算出根拠
収入の部			
東日本区費	13,166,000	12,429,500	会員数前期804名・主事45名/後期829名・主事46名
ハンドブック＆ロースター	1,517,500	1,429,600	1,700円×756冊 + 1,900円×76冊
入会金	480,000	264,000	入会者 44名 × 6000円
物品売上	150,000	37,640	
国際加盟金	36,000	21,744	CHF100.00 × 2 × ¥108.72
YMIワールド補助金	102,480	99,487	866 × CHF1.00 × ¥114.88
受取利息	0	801	みずほ銀行
雑収入	115,000	29,166	
ロースター広告	600,000	575,000	ユース活動費
YVLF負担金	1,180,000	1,180,000	20,000円×59クラブ
ユース活動参加費	360,000	386,300	YVLFリーダー・ワיז参加費、AYC参加費
収入の部小計	17,706,980	16,453,238	
前期繰越金	9,417,508	10,074,109	
合 計	27,124,488	26,527,347	

支出の部			
国際会費	3,843,000	3,374,407	CHF17.50 × 849 × ¥108.72 CHF17.50 × 875 × ¥114.88
アジア太平洋地域会費	627,900	545,607	USD3.00 × 849 × ¥106.00 USD3.00 × 875 × ¥105.00
アジア太平洋地域災害緊急支援	202,400	179,988	USD2.00 × 849 × ¥106.00
国際加盟金	36,000	21,744	CHF100.00 × 2 × ¥108.72
東日本区大会負担金	440,000	424,500	500円 × 849名
東日本区事務所費(人件費)	1,200,000	1,218,000	10月より2,000円UP
(家賃)	1,200,000	1,200,000	
会議費	100,000	11,074	飲物代・会議室代
旅費・交通費	2,050,000	1,795,500	委員会・役員会、部研修会LT委員旅費等
区・事業費	1,100,000	719,967	ネット活動費、区大会キャンセル料・表彰等
部・事業費	964,000	954,700	部当たり10万 × 7部 + 300円 × 860名
事務通信費	400,000	322,320	プロバイダー料、電話料、送料
宣伝印刷費	350,000	508,020	区報印刷費2回分、YMIワールド
コピー機力ウンターチャージ	400,000	222,643	リース料含む
ハンドブック&ロースター	1,449,000	1,467,579	
消耗品・事務用品費	100,000	42,664	
EMC物品費	635,000	263,626	入会キット等
慶弔費	30,000	67,756	生花、弔電、祝電
銀行手数料	30,000	41,664	送金手数料等
雑費	50,000	0	
予備費	50,000	0	
ユース活動費	640,000	179,850	AYC登録費・交通費等
YVLF	1,500,000	1,426,591	山中湖センター支払等
活動費補助 理事/次期理事/直前理事	80,000	80,000	理事4万、次期理事2万、直前理事2万
書記/会計	40,000	40,000	2万 × 2
事業主任	80,000	60,000	2万 × 4(兼任1名)
部長	140,000	140,000	2万 × 7
委員長/専任委員	80,000	80,000	1万 × 8
監事	20,000	20,000	1万 × 2
理事スタッフ	30,000	20,000	1万 × 3 (副書記、副会計)(兼任1名)
支出の部小計	17,867,300	15,428,200	
次期繰越金	9,257,188	11,099,147	
合 計	27,124,488	26,527,347	

■ 決算

貸借対照表

2020年6月30日

資産の部	負債の部
現預金 28,102,187	未払金 0
貯蔵品 57,742	前受金 1,200,000
立替金 0	預り金 6,050
短期貸付金 0	東日本区ワイス基金（JEF） 12,496,213
未収入金 0	各種献金残高 2,743,901
	東日本大震災支援募金残高 683,016
	災害募金(台風19号災害支援募金) 31,602
仮払金 100,000	次期繰越金 11,099,147
計 28,259,929	計 28,259,929

特別資金会計

JEF

収入の部	支出の部
当期入金 375,450	当期支出 (Change!2022推進委員会) 2,800,000 (PWALP募金) 1,250,000
前期繰越金 16,170,763	次期繰越金 12,496,213
計 16,546,213	計 16,546,213

TOF

収入の部	支出の部
当期入金 903,880	当期支出 (国際送金) 910,380
前期繰越金 6,500	次期繰越金 0
計 910,380	計 910,380

CS/ASF

収入の部	支出の部
当期入金 (CS) 1,002,092	当期支出 (日本YMCA同盟) 1,000,000
(ASF) 278,750	(STEP 支援) 200,000 (国際送金) 128,187
前期繰越金 823,911	次期繰越金 776,566
計 2,104,753	計 2,104,753

FF(今期よりCS/ASF会計より分離)

収入の部	支出の部
当期入金 288,848	当期支出 0
前期繰越金 765,435	次期繰越金 1,054,283
計 1,054,283	計 1,054,283

BF

収入の部	支出の部
当期入金 1,178,601	当期支出 (国際送金) 1,178,601
前期繰越金 0	次期繰越金 0
計 1,178,601	計 1,178,601

EF

収入の部	支出の部
当期入金 113,960	当期支出 113,960
前期繰越金 0	次期繰越金 0
計 113,960	計 113,960

RBM

収入の部	支出の部
当期入金 448,100	当期支出 (国際送金) 448,100
前期繰越金 0	次期繰越金 0
計 448,100	計 448,100

YES

収入の部	支出の部
当期入金 268,900	当期支出 0 (国際送金) 371,908
前期繰越金 474,916	次期繰越金 371,908
計 743,816	計 743,816

メネット

収入の部	支出の部
当期入金 409,100	当期支出 104,206 (国際送金) 85,100
前期繰越金 321,350	次期繰越金 541,144
計 730,450	計 730,450

東日本大震災支援募金

収入の部	支出の部
当期入金 32,006	当期支出 121,112
前期繰越金 772,122	次期繰越金 683,016
計 804,128	計 804,128

災害募金

収入の部	支出の部
当期入金 4,817,848	当期支出 (熊本大地震支援募金) 43,200 (台風19号災害支援募金) 4,772,246
前期繰越金 29,200	次期繰越金 31,602
計 4,847,048	計 4,847,048

財産目録

2020年6月30日

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	現金手元在高	89,345
普通預金	郵便振替	17,100,211
	みずほ銀行	149,269
	東京東信用金庫	80,187
	ゆうちょ銀行	683,016
	みずほ銀行 (US\$)	159
定期預金	みずほ定期	10,000,000
現預金合計		28,102,187
貯蔵品	CS年賀切手	57,742
短期貸付金		0
未収入金		0
仮払金	(株)斎藤工芸 (万国旗)	100,000
流動資産合計		157,742
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		28,259,929
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		0
前受金	2020YVLF分担金	1,200,000
預り金	(有)フクオ	6,050
東日本区ワイス基金		12,496,213
東日本大震災支援募金		683,016
災害支援募金		31,602
各種献金		2,743,901
TOF,CS/AFS.FF.BF.EF.RBM.YES.ネット		
流動負債合計		17,160,782
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		17,160,782
正味財産		11,099,147

ワイズメンズクラブ国際協会

2019-2020 年度

東日本区理事 山田 敏明様

東日本区決算会計監査報告書

私たちは、東日本区定款第 15 条第 2 項(2)の規定に基づき、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の 2019-2020 年度決算(2019 年 7 月 1 日～2020 年 6 月 30 日)の会計監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

監査日時：2020 年 7 月 5 日午後 12 時 30 分より zoom 監査

監査立会人：
東日本区理事 山田 敏明
東日本区書記 山下 真
東日本区事務所所長 小山 憲彦

1. 監査方法

提示された収支計算書、貸借対照表、財産目録、特別会計の諸表並びに金融機関の残高証明書、通帳等を照合。

2. 監査結果

監査方法に基づき、2020 年 6 月 30 日現在の会計監査を実施した結果、財産の状況、会計処理は適正であることを確認いたしましたので、ここに報告させていただきます。

ワイズメンズクラブ国際協会

2019-2020 年度

東日本区監事 漆畠 義彦 

東日本区監事 辻 剛 

■ クラブ会長・東日本区役員一覧

2019-2020年度 クラブ会長一覧

北海道部			31	東京多摩みなみクラブ	深尾 香子
1	札幌クラブ	伏木 康	32	東京町田スマイリングクラブ	為我井輝忠
2	北見クラブ	藤原 和久		あずさ部	
3	十勝クラブ	池田 正勝	33	甲府クラブ	標 克明
4	札幌北クラブ	佐藤 國彦	34	東京山手クラブ	浅羽 俊一郎
北東部			35	東京西クラブ	篠原 文恵
5	仙台クラブ	中川 典幸	36	東京武蔵野多摩クラブ	大輪 匡史
6	前橋クラブ	岸 龍也	37	松本クラブ	中本 晶子
7	宇都宮クラブ	本多 啓夫	38	東京サンライズクラブ	小山 久恵
8	仙台青葉城クラブ	南澤 一右	39	甲府21クラブ	荻野 清
9	足利クラブ	諏訪 治男	40	東京八王子クラブ	並木 信一
10	会津クラブ	青山 孝男	41	東京たんぽぽクラブ	越智 京子
11	宇都宮東クラブ	岡田 孝司	42	富士五湖クラブ	望月 喜代子
12	那須クラブ	河野 順子	43	長野クラブ	森本 俊子
13	もりおかクラブ	三田 優平		湘南・沖縄部	
14	仙台広瀬川クラブ	門脇 秀知	44	横浜クラブ	古田 和彦
15	石巻広域クラブ	石川 光晴	45	沖縄那覇クラブ	玉城 哲人
関東東部			46	鎌倉クラブ	千葉 裕子
16	東京江東クラブ	山崎 常久	47	横浜どつかクラブ	浦出 昌吉
17	千葉クラブ	石丸 隆章	48	厚木クラブ	日下部 美幸
18	東京グリーンクラブ	西澤 純一	49	金沢八景クラブ	峯尾 舜
19	埼玉クラブ	上松 寛茂	50	横浜つづきクラブ	今城 高之
20	東京北クラブ	金 秀男	51	沖縄クラブ	手登根 正
21	所沢クラブ	東 裕二	52	横浜つるみクラブ	久保 勝昭
22	東京ひがしクラブ	飯田 歳樹		富士山部	
23	川越クラブ	吉野 勝三郎	53	熱海クラブ	深澤 勇弘
24	茨城クラブ	熊谷 光彦	54	沼津クラブ	菅沼 道子
25	東京ベイサイドクラブ	久保田健太郎	55	伊東クラブ	久保田 康正
東新部			56	三島クラブ	石川 敏也
26	東京クラブ	加藤 義孝	57	下田クラブ	土屋 誠
27	東京むかでクラブ	今井 武彦	58	熱海グローリークラブ	勝又 隆吉
28	東京世田谷クラブ	朝倉 正明	59	御殿場クラブ	高橋 啓子
29	東京町田コスモスクラブ	今村 路加	60	富士クラブ	吉澤 廣美
30	東京センテニアルクラブ	徐 鐘煥	61	富士宮クラブ	石川 泰仁

2019-2020年度 東日本区役員・委員長等一覧

東 日 本 区 常任役員	理事	山田 敏明	十 勝	常置委員会 委員長 事業委員会 特別委員会 専任委員	文献・組織検討委員会委員長	利根川 恵子	川 越	
	次期理事	板村 哲也	東京武蔵野多摩		LT委員会委員長	北村 文雄	厚 木	
	直前理事	宮内 友弥	東京武蔵野多摩		東日本区ワイス基金運営委員会委員長	高田 一彦	千 葉	
	書記	山下 真	十 勝		東日本区奈良傳賞選考委員会委員長	山田 敏明	十 勝	
	会計	増中 文明	十 勝		地域奉仕・YMCAサービス事業委員会委員長	片山 啓	茨 城	
東 日 本 区 事 業 主 任 役 員	地域奉仕・YMCAサービス事業主任	片山 啓	茨 城		会員増強事業委員会委員長	札埜 廉一	熱 海	
	会員増強事業主任	札埜 廉一	熱 海		国際・交流事業委員会委員長	板村 哲也	東京武蔵野多摩	
	国際・交流事業主任	板村 哲也	東京武蔵野多摩		ユース事業委員会委員長	渡辺 大輔	東京武蔵野多摩	
	ユース事業主任	渡辺 大輔	東京武蔵野多摩		ネット委員会委員長	濱谷 実季	所 沢	
	北海道部部長	宮崎 善昭	札 幌		東日本区大震災支援対策本部長	山田 敏明	十 勝	
東 日 本 区 部 長	北東部部長	鈴木 伊知郎	宇都宮東		東日本区事務所人事委員会委員長	板村 哲也	東京武蔵野多摩	
	関東東部部長	金丸 満雄	東京ひがし		Change!2022推進委員会委員長	栗本 治郎	熱 海	
	東新部部長	小川 圭一	東京世田谷		ヒストリアン	仙洞田 安宏	甲 府	
	あずさ部部長	赤羽 美栄子	松 本		ITアドバイザー	大久保 知宏	宇都宮	
	湘南・沖縄部部長	森田 幸二郎	沖 縄		トラベルコーディネーター	長澤 山泰	東 京	
監事	富士山部部長	長田 俊児	下 田		広報・伝達(PR)専任委員	山下 真	十 勝	
	監事	漆畠 義彦	富 士		東日本区事務所事務所長	小山 憲彦	東京サンライズ	
	監事	辻 剛	横浜つづき		東日本区担当主事	光永 尚生	三 島	
監事					副書記	仙洞田 安宏	甲 府	
					副会計	相川 達男	東京江東	
					副会計	酒向 裕司	東京江東	

東日本区 メネット献金一覧表

[2019年7月～2020年6月]

	クラブ名	期首会員数	国内・絵本	国内・大震災	国際・プロジェクト	国際・登録費	合計
北海道部 (4)	札幌	8					0
	北見	12					0
	十勝	17	6,000	6,000			12,000
	札幌北	9					0
	小計	46	6,000	6,000	0	0	12,000
北部 (11)	仙台	15	4,000	5,000	2,000	600	11,600
	前橋	7					0
	宇都宮	33					0
	仙台青葉城	15	10,000	5,000	600	400	16,000
	足利	1					0
	会津	5					0
	宇都宮東	8					0
	那須	6					0
	もりおか	13	20,000	5,000	3,000	1,000	29,000
	仙台広瀬川	16	3,000	4,000	3,000	1,000	11,000
	石巻広域	19					0
	小計	138	37,000	19,000	8,600	3,000	67,600
関東東部 (10)	東京江東	21					0
	千葉	15	3,000	3,000	3,000	1,000	10,000
	東京グリーン	17	10,000	10,000	5,000	200	25,200
	埼玉	7					0
	東京北	12	5,000	5,000	3,000	600	13,600
	所沢	9					0
	東京ひがし	11					0
	川越	10	10,000	5,000	5,000	0	20,000
	茨城	10					0
	東京ベイサイド	14					0
	小計	126	28,000	23,000	16,000	1,800	68,800
新東部 (6)	東京	26	30,000	20,000	10,000	1,000	61,000
	東京むかで	13	4,000	3,000	3,000	0	10,000
	東京世田谷	11	5,000	5,000	5,000	2,200	17,200
	東京町田コスモス	9	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
	東京センテニアル	8	5,000	0	0	0	5,000
	東京多摩みなみ	14	3,000	2,000	1,000	200	6,200
	東京町田スマーリング	11					0
	小計	92	48,000	31,000	20,000	4,400	103,400
	甲府	35	5,000	5,000	2,000	1,300	13,300
	東京山手	11					0
	東京西	15	5,000	5,000	0	0	10,000
あさずさ部 (11)	東京武蔵野多摩	11	1,000	1,000	1,000	0	3,000
	松本	11					0
	東京サンライズ	15	3,000	3,000	3,000	1,000	10,000
	甲府21	32	5,000	5,000	0	0	10,000
	東京八王子	15	5,000	0	5,000	0	10,000
	東京たんぽぽ	7	3,000	0	2,000	0	5,000
	富士五湖	11					0
	長野	8					0
	小計	171	27,000	19,000	13,000	2,300	61,300
	横浜	12					0
	沖縄那覇	1					0
湘南・沖縄部 (8)	鎌倉	8	3,000	0	0	0	3,000
	横浜とつか	13	6,000	0	0	0	6,000
	厚木	16					0
	金沢八景	13	3,000	3,000	3,000	1,000	10,000
	横浜つづき	17					0
	沖縄	14					0
	横浜つるみ	9					0
	小計	103	12,000	3,000	3,000	1,000	19,000
	熱海	43	6,000	6,000	6,000	2,000	20,000
	沼津	13	15,000	4,000	0	1,000	20,000
富士山部 (9)	伊東	24					0
	三島	12	5,000	2,000	1,000	800	8,800
	下田	7					0
	熱海グローリー	17					0
	御殿場	21	5,000	3,000	0	200	8,200
	富士	16	6,000	3,000	1,000	0	10,000
	富士宮	20	5,000	5,000	0	0	10,000
	小計	173	42,000	23,000	8,000	4,000	77,000
	メネットのつどい						0
							0
							0
	合計	849	200,000	124,000	68,600	16,500	409,100



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

JAPAN EAST REGION

2019～2020

Notes & News



国際会長 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

アジア太平洋地域会長 アクション! Action!

東日本区理事 勇気ある変革、愛ある行動! Innovation with courage,action with heart!

2020.9.15 発行 第2号通巻63号

新たな出会いを求めて —魅力あるワイズメネットとして



ワイズメネット委員会委員長 澄谷 実季 (所沢)

今期の後半はCOVID-19の影響により活動自粛となり、私たちは自由に行動することが難しい日々を過ごすこととなりました。計画通りに進むことができず、委員会活動が停滞してしまったことをお詫び致します。今期2回の委員会開催と「ワイズメネットのつどい」を実施しワイズメネット委員会のメイン行事である「ワイズメネットのつどい」は、都心から離れた片田舎の毛呂山町までお越しいただき、講師の深尾香子メンからは分かりやすくお茶の世界が身近なことであることのお話と実演体験から和気藹々と学ばせていただきました。毎年6月頃に絵本事業を行っていますが、COVID-19の影響は大きく、YMCAの各施設も大変な苦労の中で運営なさっていることもあり、次年度へと延期と致しました。

事業報告について、ワイズメネット委員会は、①2019年7月6日(土)②2019年10月30日(土)の2回を日本YMCA同盟会館にて開催致しました。残念ながら第3回は中止せざるを得ない状況となりました。また、第23回ワイズメネットのつどいを2019年11月30日(土)に日本基督教団毛呂教会を会場にして、深尾香子氏(東京多摩みなみクラブ会長)を講師にお招きし、「あら、まあ、簡単！ 茶の湯の易しいおもてなし～日本とヴァチカンの往復書簡より～」と題して講演を頂きました。参加者は32名(17クラブ31名)、プチマルシェの売上36,100円(絵本事業に繰入れ)でした。ワイズメネット献金は31クラブより409,100円(内訳:国内324,000円、国際85,100円)をお献げいただきました。ご協力に感謝を申し上げます。また、各クラブのネット会の活動を継続していただき、いくつか報告を受けております。委員会として、各クラブネット会を応援させていただきたいと考えております。

今期の事業主題を「新たな出会いを求めて—魅力あるワイズメネットとして」と掲げて参りました。各部大会でアピールの機会を与えていただきました。関心を持ち、また献金を寄せて頂きましたことを心より感謝を申し上げます。次年度も引き続きCOVID-19の渦中でのスタートとなります。しっかりと活動をして行きたいと考えております。1年間ありがとうございました。

